平成２９年度

学生による授業評価
アンケート実施結果報告書

—授業の質的向上と発展を目指して—

≪青葉山コモンズから仙台市内にまたがる虹の架け橋≫

東北大学大学院農学研究科・農学部
評価室

目　次

はじめに ・・・ 1

Ⅰ．学生による農学部の授業評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1. アンケートの実施方法・・ 3

1）実施の概要　2）実施の方針　3）アンケート作成　4）実施方法の概要

2. アンケートの集計結果の分析（講義）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1）　アンケート項目

2）　集計結果、集計表、感想と意見

・集計結果の分析概要と集計表

・全科目の集計結果と集計表

・前回の授業評価との比較

3. アンケートの集計結果の分析（実験・実習）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

1）　アンケート項目

2）　集計結果、集計表、感想と意見

・集計結果の分析概要と集計表

・全科目の集計結果と集計表

・前回の授業評価との比較

4. 参考資料 ・・・ 25

1）　東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙

東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙

2）　授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）

3)「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について

「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について

4)「授業担当教員」学生による授業評価の実施について

「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について

5)「農学部授業担当教員」「学生による授業評価」に関する意見等について

「農学部実験・実習担当教員」「学生による実験・実習評価」に関する意見等について

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

1.アンケートの実施方法 ・・・ 34

1）実施の概要　2）実施の方針　3）アンケート作成　4）実施方法の概要

2. アンケートの集計結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

1）　アンケート項目

2）　集計結果、集計表、感想と意見

・集計結果の分析概要と集計表

・全科目の集計結果と集計表

・前回の授業評価との比較

3. 参考資料・・ 44

1）　東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙（2 学期）

2）　授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）

3)「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について

4)「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について

5)「農学研究科授業担当教員」「大学院学生による授業評価」に関する意見等について

は じ め に

農学研究科・農学部での授業評価は、学生による授業評価を平成１０年度の２学期と同１１年度１学期に初めて実施され、同１５年度以降は毎年実施しております。毎年実施されるようになって平成２９年度で１５年目となります。本報告書は平成２９年度の回答結果を平成３０年度にまとめたものです。報告書のとりまとめは１年遅れとなります。

授業評価の直接的な目的は日常の授業の質的向上です。そして、その評価結果は大学の普段の活動状況に関する説明責任を果たすための資料になっています。

２０２０年度には第３期中期目標期間（２０１６年度から２０２１年度）に係る業務の実績に関する４年目終了時評価が行われます。そのために平成３１年度に作成する現況調査表には「学生による授業評価」を引用して判断基準とします。

平成２６年度実施の大学機関別認証評価では、「単位の実質化がなされているか」の評価項目について「予習・復習・関連学習時間の増加・確保が望まれる（学部・大学院）」との指摘を受けております。また、授業評価アンケート結果を公開することが求められています。

農学研究科・農学部において「学生による授業評価アンケート実施結果報告書」は昨年度まで冊子体で配布しておりました。今回の報告書からは統計的分析データを PDF 化して農学部・農学研究科 HP で公開することといたしました。また、次年度からは WEB マーケティングツールを利用したスマートフォンによるアンケート実施を予定しております。

農学研究科・農学部は平成２８年度秋から冬にかけて雨宮キャンパスから青葉山新キャンパスへ移転しました。雨宮キャンパスでの授業最終日は平成２８年１２月２２日でした。平成２９年４月からは青葉山新キャンパスでの講義が始まりました。５月１５日には青葉山新キャンパスの開所式が行われました。本報告書は青葉山新キャンパスでの講義における最初の報告書となります。青葉山コモンズには２９５人収容の大講義室、９９人収容の講義室３室、７２人収容の講義室４室、３６人収容の講義室３室あり、全講義室にプロジェクターとスクリーンが設置され、オーディオ設備も充実しました。Wi-Fi も使えます。雨宮キャンパスでの講義に比べ、「学ぶ環境」が格段に改善され、授業の質の向上と発展にもつながっていると思います。

最後に、学生による授業評価に協力を頂いた学生諸君と教員の皆様、同評価のための事務作業担当者、並びに評価報告書を取りまとめられた専門委員会の方々に謝意を表します。

平成３１年３月

評価室長　鳥山欽哉

Ⅰ.学生による農学部の授業評価

I. 学生による農学部の授業評価

1. アンケートの実施方法

1）実施概要

学生による農学部の授業評価は、農学部における専門教育を受講している 1 年生、2 年生、3 年生および 4 年生を対象とした。

2）実施方針

（1）実施は平成 29 年度に行われた農学部の講義と実験・実習を対象とした。
（2）調査の実施は教員の主体性を尊重した。
（3）アンケート調査は、2 単位の授業では平成 29 年 6 月下旬と平成 30 年 1 月に実施し、1 単位の授業では終了時に実施した。実験・実習については各授業の終了時に実施した。

3）アンケート作成

（1）授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともにアンケート用紙にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
（2）各設問に対する回答は、4 段階評価で行った。

4）実施方法の概要

（1）講義については、平成 29 年 6 月下旬および平成 30 年 1 月の各セメスター終了時の授業時間にアンケート用紙を配布し、回収は学生によって行われた。実験・実習については、各授業の終了時に実施した。
（2）回収されたアンケート用紙は、学生が封をし、教務係に提出した。
（3）教務係では、回収アンケート用紙の学生の氏名部分を切り取り、業者に集計を依頼した。
（4）教員には、担当の授業に関する集計結果と全科目平均値集計および回収アンケート用紙を手渡し、アンケート集計結果に対する感想・意見を依頼した。
（5）実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
平成 29 年度 1 学期は 90 科目（内、実験・実習は 19 科目）、2 学期は 72 科目（内、実験・実習は 11 科目）で実施された。講義の履修届者数は 1 学期 2,863 名、2 学期 1,963 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 2,515 名で回収率は 87.8%、2 学期 1,687 名で回収率は 85.9%であった。
実験・実習の履修届者数は 1 学期 530 名、2 学期 292 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 529 名で回収率は 99.8%、2 学期 292 名で回収率は 100.0%であった。

2.アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は 1 学期と 2 学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1）アンケート項目

設問①:いまこの場で受講している講義の種類
設問②:この講義にどの程度出席しましたか。
設問③:出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。
設問④:この講義について予習・復習をしましたか。
設問⑤:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。
設問⑥:授業概要(シラバス)は有用でしたか。
設問⑦:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。
設問⑧:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。
設問⑨:講義について教員の熱意を感じましたか。
設問⑩:講義を進める速度は適切でしたか。
設問⑪:説明は良く聞き取れましたか。
設問⑫:板書等の文字は、読み易かったですか。
設問⑬:視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。
設問⑭:資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。
設問⑮:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。
設問⑯:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。
設問⑰:この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。
設問⑱:講義内容はどの程度理解したと思いますか。
設問⑲:講義の難易度は適切でしたか。
設問⑳:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2）集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:必修か選択かを問う設問である。必修の割合は、1 学期 73%、2 学期 60%であった。

設問②、③:出席割合と評価資格があると思うかを問う設問である。出席については 90%以上出席が 1 学期は 86%であったが、2 学期は約 80%とやや低かった。評価資格については、十分あると答えた者の割合が 1 学期では 73%、2 学期では 67%と控えめである。

設問④、⑤:講義に対する学生の取り組みを問う設問である。予習・復習については、「良くした」と「した」の合計が 1 学期 39%、2 学期 46%であった。1 学期は 40%を切る値となったため、もう少し予習・復習を意識付ける必要がある。取り組みについては、「極めて熱心に取り組んだ」と「熱心に取り組んだ」の合計は 1 学期 73%、2 学期 72%であり、熱心さがうかがえた。一方、あまり熱心に取り組んでいない学生が両学期とも 2〜3 割程度もいることにも注意する必要がある。

設問⑥、⑦:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスの有用性については、「大いに有用だった」と「有用だった」の合計は、1 学期が 81%、2 学期は 83%と高く、また 1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生がシラバスに沿って講義が行われていると回答している。したがって、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。

設問⑧、⑨:教員の講義に対する準備や熱意を問う設問である。1 学期、2 学期とも約 90%の学生が講義内容は準備されていたとしている。また教員の熱意に関しても、1 学期、2 学期ともに約 95%の学生

が熱意を感じている。

設問⑩～⑫：教員の講義の仕方に関する設問である。講義を進める速度に関して、1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生がほぼ適切だと感じている。また、1 学期、2 学期ともに 85%を越える学生が講義を「よく聞き取れた」あるいは「聞き取れた」としているが、1 学期には 15%、2 学期には 12%の学生が「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」としており、マイクを使うなど改善が必要と考えられた。板書については、両学期とも約 80%の学生が読み易かったと回答しているが、一方で、読みにくかったとしている学生が両学期において 17～18%おり改善が必要である。

設問⑬～⑮：教材の有用性に関する設問である。視聴覚・情報機器に関しては、有効だったと感じている学生は 1 学期が 72%、2 学期が 78%であった。有効でないとしている学生は両学期を通じて 3～4%と少なかった。配布資料や模擬実験についても役立ったと感じている学生は両学期を通じて 80%以上であった。教科書や参考書が講義の理解に役立ったとする学生は両学期とも 50%程度と低かったが、これは未記入が多いことからも、教科書や参考書の利用が特に推奨されなかったか必須ではなかったためと考えられる。実際、役に立たなかったとの回答は 5%程度であったため、教科書や参考書は有効であったと考えられる。

設問⑯、⑰：宿題・演習の有効性とオフィスアワーの設定に関する設問である。宿題・演習に関しては、両学期とも約 60%の学生が有効性を感じており、役に立たなかったとの回答は両学期とも 4%と低かった。未記入が両学期とも 4 割弱と高いことから、宿題・演習を課されていなかったあるいは課されても行わなかったことが考えられ、宿題・演習を学生が行った場合の有効性は高い。オフィスアワーの設定については、両学期とも約 80%の学生が概ね適切であると回答している一方で、両学期を通じて 20%弱の学生が未記入であった。適切でないとしている学生はわずかであったことからもオフィスアワーの設定については問題ないと考えられるが、十分に認識されていない可能性もある。

設問⑱、⑲：講義の理解度と難易度を問う設問である。理解度については、両学期とも 80%を超える学生が理解できたと感じていた。難易度についても、両学期とも約 90%の学生が適切であると感じている。また難易度が適切でないとした学生は 10%未満であり難易度の設定に問題はないと考えられる。両学期を通じて 15～16%の学生が理解できなかったとしており、学生の努力を促すとともに、引き続きわかりやすい講義の実施に努めることが求められる。

設問⑳：講義の満足度を問う設問である。両学期とも 90%の学生が満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

① 1 学期、2 学期ともに 90%を越える学生が講義はシラバスに沿って講義が行われていると回答しており、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。

② 約 90%の学生が講義内容は準備されていたとし、講義を進める速度に関しても 90%を越える学生がほぼ適切だと感じている。

③ 90%を越える学生が教員の講義を行う姿勢に熱意を感じ、また総合的に満足したと回答した学生も 90%であった。

④ 難易度について約 90%の学生が適切であると感じ、適切でないとした学生は 10%未満であった。

【改善を要する点】

① 学生の講義への出席は、例年と比べると必修科目が減る 2 学期において低く、90%以上出席した学生の割合は 80%であった。出席について注視する必要がある。

② 予習・復習を行った学生が 1 学期は 40%を切る値となったため、もう少し予習・復習を意識付ける必要がある

③ 授業にあまり熱心に取り組んでいない学生が引き続き 2〜3 割おり、善処する必要がある。

④ 講義の基本となる説明において「聞き取りにくかった」あるいは「聞き取れなかった」とした学生が 1 割以上で、板書が読みにくかったとした学生が 2 割弱おり、マイクの使用や明瞭な話し方、読みやすい板書を心がける必要がある。

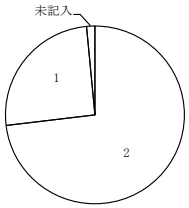
⑤ 難易度の設定には問題はないが、両学期を通じて 15%を超える学生の理解度が低いとしていたことから、学生の努力を促すとともに、よりわかりやすい講義を行うことが求められる。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

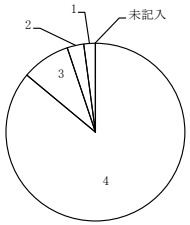
質問事項		選択項目	回答	比率 %
①いまこの場で受講している講義の種類	2	必修	1,839	73.1
	1	選択	639	25.4
		未記入	37	1.5

①必修・選択



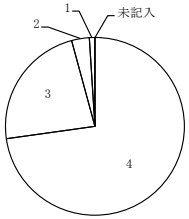
質問事項		選択項目	回答	比率 %
②この講義にどの程度出席しましたか。	4	90%以上	2,163	86.0
	3	80－90%	221	8.8
	2	70－80%	76	3.0
	1	70%以下	54	2.1
		未記入	1	0.0

②出席



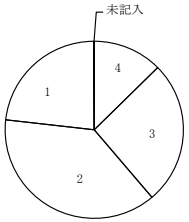
質問事項		選択項目	回答	比率 %
③出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。	4	充分ある	1,829	72.7
	3	一応ある	579	23.0
	2	あまりない	81	3.2
	1	全くない	25	1.0
		未記入	1	0.0

③評価資格



質問事項		選択項目	回答	比率 %
④この講義について予習・復習をしましたか。	4	よくした	318	12.6
	3	した	658	26.2
	2	あまりしなかった	955	38.0
	1	全くしなかった	581	23.1
		未記入	3	0.1

④予習・復習

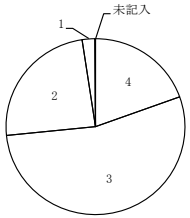


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

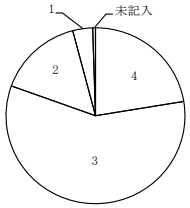
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑤この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4	極めて熱心に取り組んだ	491	19.5
	3	熱心に取り組んだ	1,355	53.9
	2	あまり熱心に取り組まなかった	609	24.2
	1	全く熱心に取り組まなかった	58	2.3
		未記入	2	0.1

⑤取組み



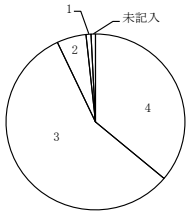
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑥授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4	大いに有用だった	563	22.4
	3	有用だった	1,462	58.1
	2	あまり有用でなかった	387	15.4
	1	有用でなかった	91	3.6
		未記入	12	0.5

⑥シラバスの有用性



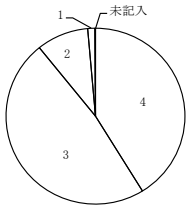
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑦授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4	行われていた	909	36.1
	3	だいたい行われていた	1,431	56.9
	2	あまり行われていなかった	134	5.3
	1	全く行われていなかった	22	0.9
		未記入	19	0.8

⑦シラバスとの整合性



質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑧内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4	よくされていた	1,036	41.2
	3	されていた	1,206	48.0
	2	あまりされていなかった	237	9.4
	1	極めて不十分だった	33	1.3
		未記入	3	0.1

⑧整理・準備

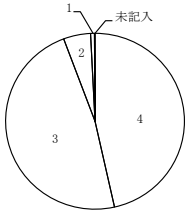


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

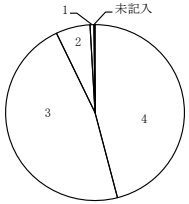
質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑨講義について教員の熱意を感じましたか。	4	大いに感じた	1,169	46.5
	3	感じた	1,201	47.8
	2	あまり感じなかった	124	4.9
	1	全く感じなかった	18	0.7
		未記入	3	0.1

⑨熱意



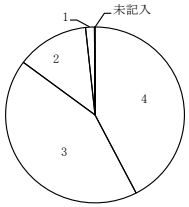
質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑩講義を進める速度は適切でしたか。	4	適切だった	1,157	46.0
	3	概ね適切だった	1,182	47.0
	2	あまり適切でなかった	155	6.2
	1	全く適切でなかった	17	0.7
		未記入	4	0.2

⑩講義速度



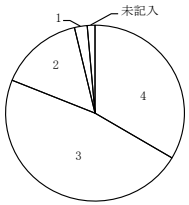
質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑪説明は良く聞き取れましたか。	4	よく聞き取れた	1,066	42.4
	3	聞き取れた	1,076	42.8
	2	聞き取りにくかった	329	13.1
	1	聞き取れなかった	41	1.6
		未記入	3	0.1

⑪説明



質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑫板書等の文字は、読み易かったですか。	4	大変読み易かった	843	33.5
	3	読み易かった	1,196	47.6
	2	読みにくかった	382	15.2
	1	非常に読みにくかった	59	2.3
		未記入	35	1.4

⑫板書

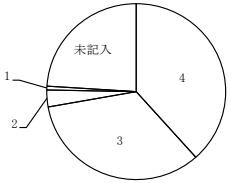


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

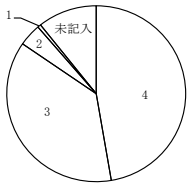
質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑬視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4	大いに役立った	965	38.4
	3	役立った	850	33.8
	2	あまり役立たなかった	79	3.1
	1	全く役立たなかった	17	0.7
		未記入	604	24.0

⑬視聴覚・情報機器



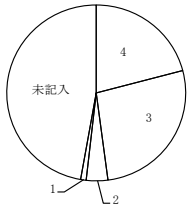
質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑭資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4	大いに役立った	1,190	47.3
	3	役立った	937	37.3
	2	あまり役立たなかった	102	4.1
	1	全く役立たなかった	16	0.6
		未記入	270	10.7

⑭資料・教材



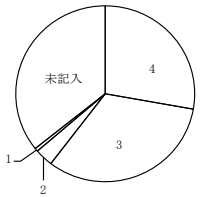
質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑮教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。	4	大いに役立った	526	20.9
	3	役立った	679	27.0
	2	あまり役立たなかった	97	3.9
	1	全く役立たなかった	26	1.0
		未記入	1,187	47.2

⑮教科書・参考書



質問事項	選択項目		回答	比率 %
⑯宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4	大いに役立った	699	27.8
	3	役立った	819	32.6
	2	あまり役立たなかった	83	3.3
	1	全く役立たなかった	15	0.6
		未記入	899	35.7

⑯宿題・演習

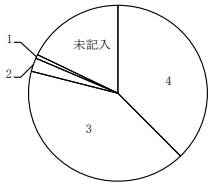


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

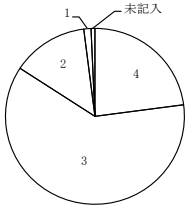
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑰この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4	適切である	947	37.7
	3	ほぼ適切である	1,040	41.4
	2	あまり適切でない	63	2.5
	1	適切でない	17	0.7
		未記入	448	17.8
⑱講義内容はどの程度理解したと思いますか。	4	よく理解できた	577	22.9
	3	理解できた	1,541	61.3
	2	あまり理解できなかった	347	13.8
	1	全く理解できなかった	32	1.3
		未記入	18	0.7
⑲講義の難易度は適切でしたか。	4	適切だった	953	37.9
	3	概ね適切だった	1,337	53.2
	2	あまり適切でなかった	179	7.1
	1	全く適切でなかった	25	1.0
		未記入	21	0.8
⑳総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4	大変満足した	981	39.0
	3	ある程度満足した	1,292	51.4
	2	あまり満足しなかった	192	7.6
	1	全く満足しなかった	33	1.3
		未記入	17	0.7

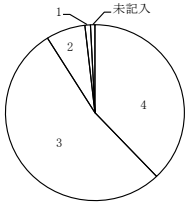
⑰オフィスアワー



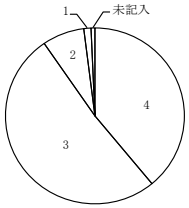
⑱理解



⑲難易度



⑳総合判断

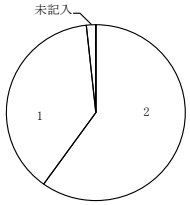


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

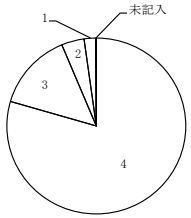
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
①いまこの場で受講している講義の種類	2	必修	1,010	59.9
	1	選択	648	38.4
		未記入	29	1.7
②この講義にどの程度出席しましたか。	4	90%以上	1,342	79.5
	3	80－90%	239	14.2
	2	70－80%	69	4.1
	1	70%以下	35	2.1
		未記入	2	0.1
③出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。	4	充分ある	1,126	66.7
	3	一応ある	479	28.4
	2	あまりない	67	4.0
	1	全くない	15	0.9
		未記入	0	0.0
④この講義について予習・復習をしましたか。	4	よくした	227	13.5
	3	した	548	32.5
	2	あまりしなかった	670	39.7
	1	全くしなかった	242	14.3
		未記入	0	0.0

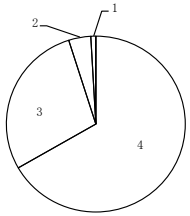
①必修・選択



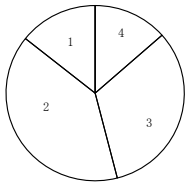
②出席



③評価資格



④予習・復習

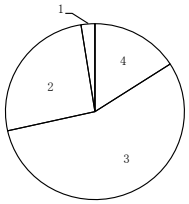


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

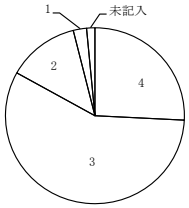
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑤この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4	極めて熱心に取り組んだ	268	15.9
	3	熱心に取り組んだ	938	55.6
	2	あまり熱心に取り組まなかった	438	26.0
	1	全く熱心に取り組まなかった	43	2.5
		未記入	0	0.0
⑥授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4	大いに有用だった	435	25.8
	3	有用だった	967	57.3
	2	あまり有用でなかった	220	13.0
	1	有用でなかった	40	2.4
		未記入	25	1.5
⑦授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4	行われていた	593	35.2
	3	だいたい行われていた	966	57.3
	2	あまり行われていなかった	85	5.0
	1	全く行われていなかった	10	0.6
		未記入	33	2.0
⑧内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4	よくされていた	713	42.3
	3	されていた	838	49.7
	2	あまりされていなかった	118	7.0
	1	極めて不十分だった	14	0.8
		未記入	4	0.2

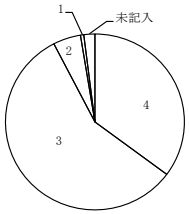
⑤取組み



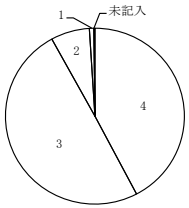
⑥シラバスの有用性



⑦シラバスとの整合性



⑧整理・準備

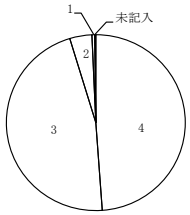


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

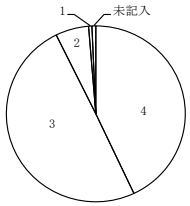
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑨講義について教員の熱意を感じましたか。	4	大いに感じた	824	48.8
	3	感じた	782	46.4
	2	あまり感じなかった	68	4.0
	1	全く感じなかった	9	0.5
		未記入	4	0.2
⑩講義を進める速度は適切でしたか。	4	適切だった	726	43.0
	3	概ね適切だった	839	49.7
	2	あまり適切でなかった	101	6.0
	1	全く適切でなかった	10	0.6
		未記入	11	0.7
⑪説明は良く聞き取れましたか。	4	よく聞き取れた	749	44.4
	3	聞き取れた	731	43.3
	2	聞き取りにくかった	168	10.0
	1	聞き取れなかった	29	1.7
		未記入	10	0.6
⑫板書等の文字は、読み易かったですか。	4	大変読み易かった	558	33.1
	3	読み易かった	806	47.8
	2	読みにくかった	245	14.5
	1	非常に読みにくかった	44	2.6
		未記入	34	2.0

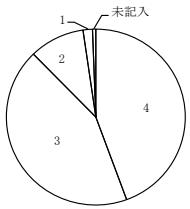
⑨熱意



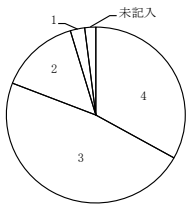
⑩講義速度



⑪説明



⑫板書

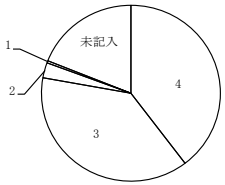


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

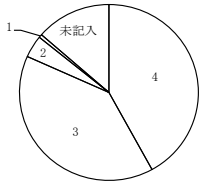
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑬視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4	大いに役立った	669	39.7
	3	役立った	644	38.2
	2	あまり役立たなかった	48	2.8
	1	全く役立たなかった	6	0.4
		未記入	320	19.0

⑬視聴覚・情報機器



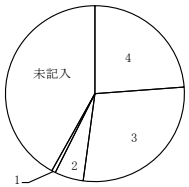
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑭資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4	大いに役立った	709	42.0
	3	役立った	669	39.7
	2	あまり役立たなかった	70	4.1
	1	全く役立たなかった	10	0.6
		未記入	229	13.6

⑭資料・教材



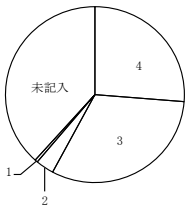
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑮教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。	4	大いに役立った	402	23.8
	3	役立った	478	28.3
	2	あまり役立たなかった	88	5.2
	1	全く役立たなかった	11	0.7
		未記入	708	42.0

⑮教科書・参考書



質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑯宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。	4	大いに役立った	443	26.3
	3	役立った	533	31.6
	2	あまり役立たなかった	55	3.3
	1	全く役立たなかった	8	0.5
		未記入	648	38.4

⑯宿題・演習

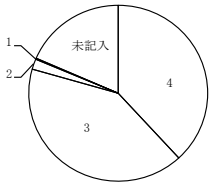


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

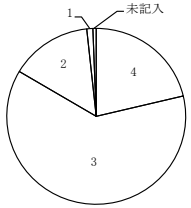
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑰この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4	適切である	644	38.2
	3	ほぼ適切である	696	41.3
	2	あまり適切でない	32	1.9
	1	適切でない	3	0.2
		未記入	312	18.5

⑰オフィスアワー



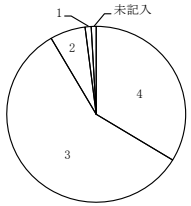
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑱講義内容はどの程度理解したと思いますか。	4	よく理解できた	359	21.3
	3	理解できた	1,051	62.3
	2	あまり理解できなかった	249	14.8
	1	全く理解できなかった	18	1.1
		未記入	10	0.6

⑱理解



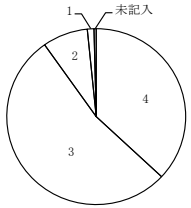
質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑲講義の難易度は適切でしたか。	4	適切だった	569	33.7
	3	概ね適切だった	976	57.9
	2	あまり適切でなかった	108	6.4
	1	全く適切でなかった	18	1.1
		未記入	16	0.9

⑲難易度



質問事項		選択項目	回答	比率 %
⑳総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4	大変満足した	624	37.0
	3	ある程度満足した	899	53.3
	2	あまり満足しなかった	138	8.2
	1	全く満足しなかった	20	1.2
		未記入	6	0.4

⑳総合判断

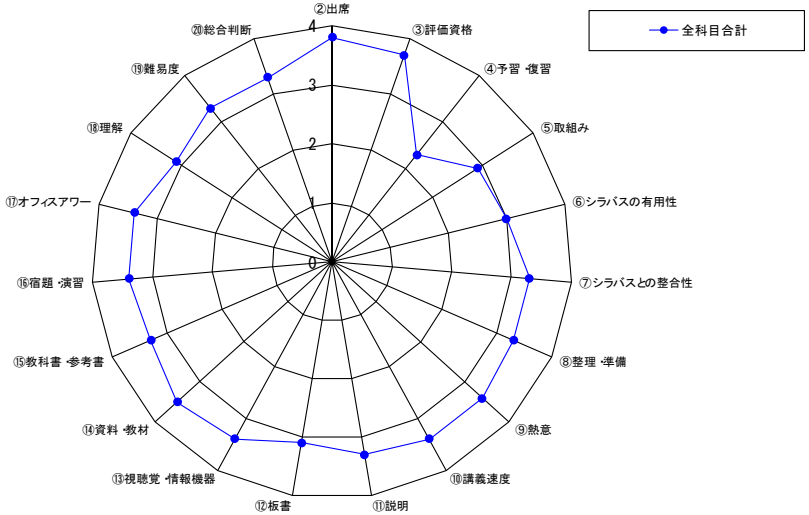


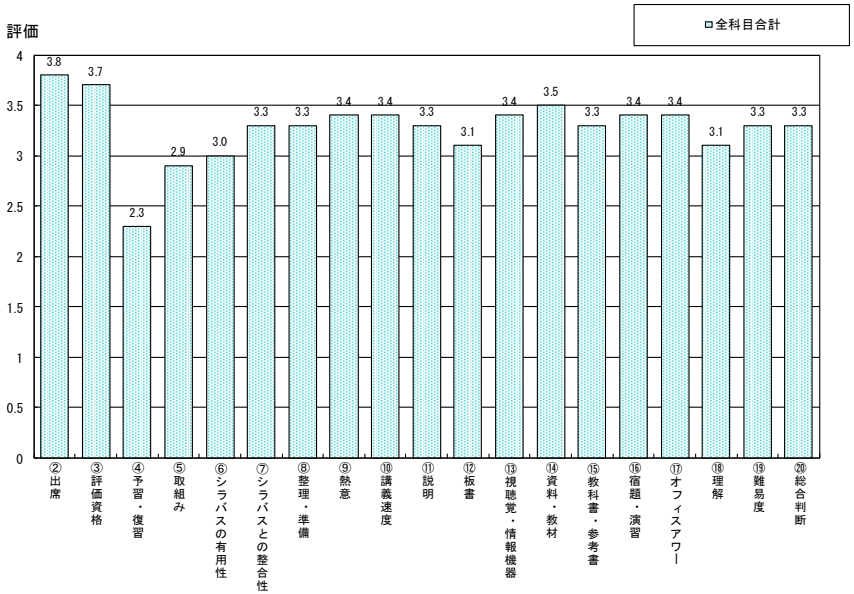
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。ただし、設問①は除いた。出席割合を示す設問②はすべての設問の中で最も点数が高く 3.7～3.8 であった。これと同じもしくはほぼ同程度に高かったのは設問③の評価資格で 3.6～3.7 であった。1、2 学期とも比較的高い点数と思われる 3.4 から 3.5 となっていたのは、⑨熱意、⑩講義速度、⑬視聴覚・情報機器、⑭資料・教材、⑯宿題・演習、⑰オフィスアワーであり、昨年度と比べると多くの項目で高評価であった。

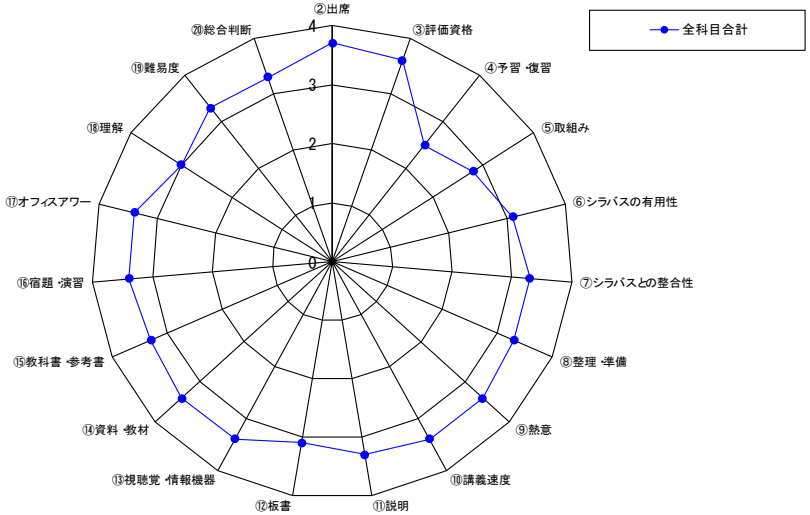
比較的低い評価点数と思われる 2.5 以下の設問として、1、2 学期を通じて④予習復習が 2.3～2.5 と最も低く、次いで低い評価として点数が 3.0 以下のものは、1、2 学期を通じて⑤取組みであった。その他の設問では⑥シラバスの有用性、⑫板書、⑱理解が他の項目とくらべると低めであった。これらの項目は昨年度と同じであり、引き続き改善が必要である。

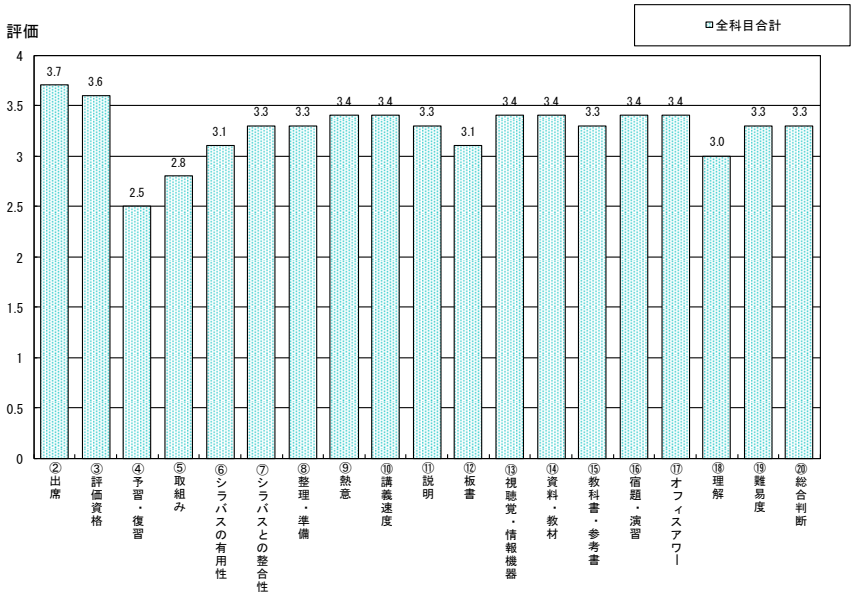
東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）
全科目合計





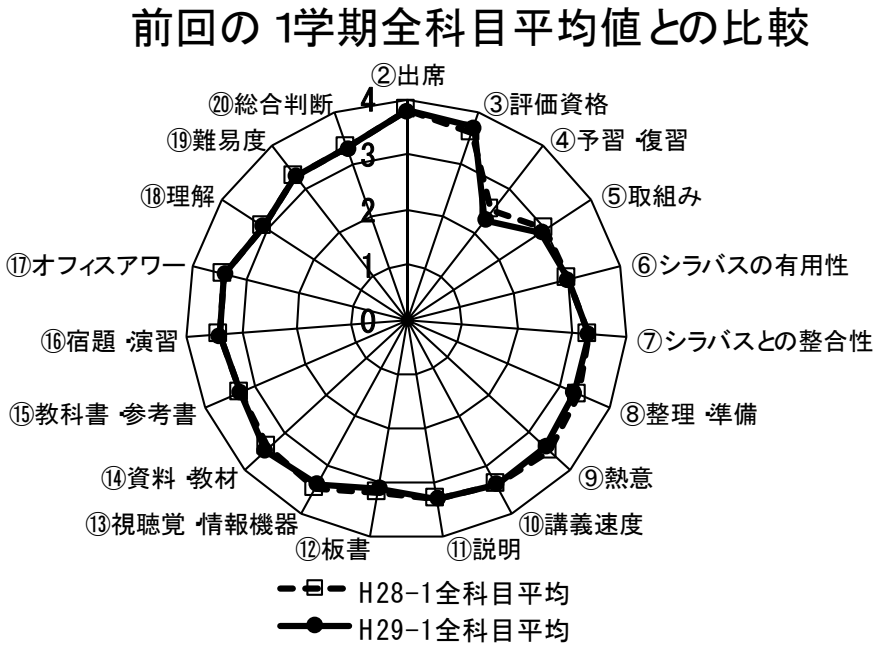
東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）
全科目合計

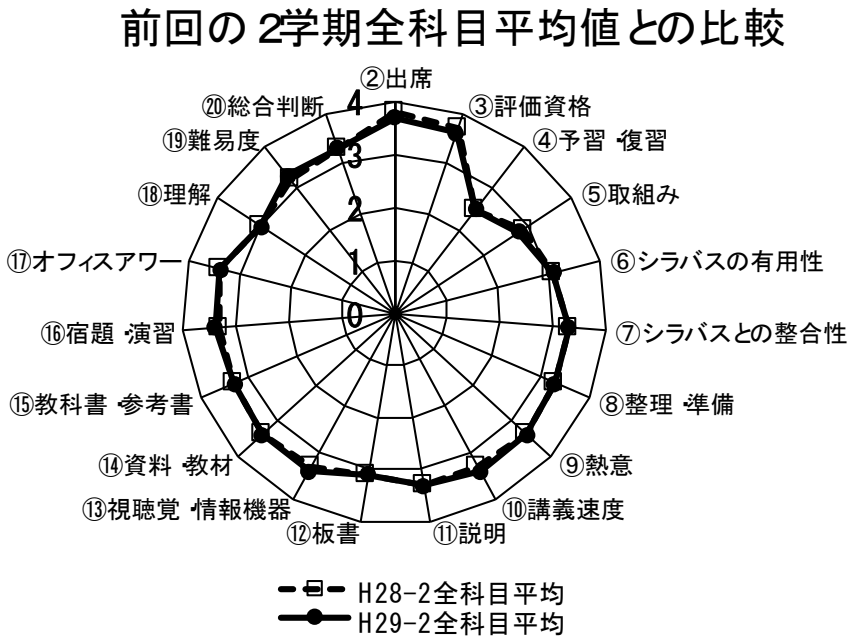




○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回（平成 28 年度実施）と同じである。1 学期、2 学期とも前回と大きな変化はないようである。





3.アンケートの集計結果の分析（実験・実習）

集計結果は、実験・実習全科目の以下の各質問事項において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1）アンケート項目

設問①:実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。

設問②:各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。

設問③:テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。

設問④:実験機器・設備は十分でしたか。

設問⑤:実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。

設問⑥:劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。

設問⑦:実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。

設問⑧:教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑨:TA 等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑩:機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。

設問⑪:レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。

設問⑫:データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。

設問⑬:実験の時間配分は適切でしたか。

設問⑭:この実験科目にあなたは満足できましたか。

設問⑯:この実験に何回欠席しましたか。

設問⑰:この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。

設問⑱:実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。

2）集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①、②:実験・実習の意義・内容の理解および各実験項目に対する配慮を問う設問である。95%以上の学生が、各実験・実習の意義や目的がシラバスや実際の実験を通して理解でき、各実験項目と講義との関係や実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じているようである。

設問③～⑤:テキストや実験機器・設備とその維持状況を問う設問である。テキストに関しては、両学期ともにそれぞれ約 95%の学生がおおよそ適切あるいは十分と考えており、実験機器・整備に関しても十分だったとする割合も約 90%と高かった。機器管理に関しては約 95%の学生が適切に管理されていると考えている。

設問⑥、⑦:実験の安全管理面や後処理指示の適切さを問う設問である。いずれの設問においても、1 学期は約 95%、2 学期は 97%の学生が安全管理や後処理指示がほぼ適切であったと感じている。

設問⑧～⑩:担当スタッフや TA の指導状況を問う設問である。約 95%の学生が教員・技術職員が実

験の指導に十分な時間を費やし、指導もきめ細やかだったと感じていた。TA の指導が十分だったとする学生は 1 学期は 94％であったが、2 学期は 84%であった。2 学期は未記入が 13%であったことから、TA の配置について十分理解されていなかった可能性がある。また、実験操作技術への教育は 96～98％の学生が概ね十分であると評価している。

設問⑪、⑫:レポート課題に関する設問である。1 学期はいずれも 96％の学生が、レポート課題が適切であり、内容の理解や考える力を養うに十分なものであり、データ整理から書き方にいたるまでの指導も十分であると感じているが、2 学期はこれらの割合が 94%および 89%と低下している。

設問⑬、⑭:実験科目の時間配分や実験に対する満足度を問う設問である。約 90％の学生が時間配分は適切であると感じている。また、96％の学生は実験科目に満足を感じていた。

設問⑯～⑱:出席、予習・復習、集中度を問う設問である。1 学期 98％、2 学期 96％の学生が欠席なしまたは1回欠席と回答しており、出席率は講義に比べて非常に高い。しかし、予習・復習をしなかった学生が 1 学期、2 学期それぞれ 14％、23％おり、前年度より高かった。一方で、1 学期 95％、2 学期 93％の学生は実験・実習に集中できたと感じている。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

① 95％以上の学生が、意義や目的を理解しており、実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じていた。
② テキスト、実験機器の管理が十分であったとする学生が約 95％であった。
③ 教員・技術職員による指導が十分であったと約 95％の学生が感じていた。
④ 実験に対して満足を感じている学生が 95％以上であった。

【改善を要する点】

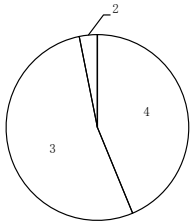
① 実験機器や設備が不十分と感じている学生は 8～11％であった。予算に応じて適宜整備すべきであろう。
② レポートの課題および指導が適切であるとする学生の割合が 2 学期においてやや低かった。
③ 劇毒物等取扱いに関する安全管理への配慮の未記入が 1 学期は 6％であった。取扱いについて理解していない学生が一定数存在していた可能性がある。
④ 予習・復習をまったくしない学生の割合が前年度より増加しており、学生の実験・実習への意識がやや低くなっている可能性がある。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

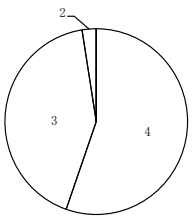
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	4	よく理解できた	231	43.7
	3	ある程度理解できた	281	53.1
	2	あまり理解できなかった	17	3.2
	1	全く理解できなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。	4	十分配慮されていた	293	55.4
	3	ある程度配慮されていた	223	42.2
	2	あまり配慮されていなかった	13	2.5
	1	全く配慮されていなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。	4	適切であった	273	51.6
	3	概ね適切であった	230	43.5
	2	あまり適切でなかった	24	4.5
	1	全く適切でなかった	2	0.4
		未記入	0	0.0
4. 実験機器・設備は十分でしたか。	4	十分だった	311	58.8
	3	概ね十分だった	162	30.6
	2	多少不十分だった	51	9.6
	1	不十分だった	5	0.9
		未記入	0	0.0

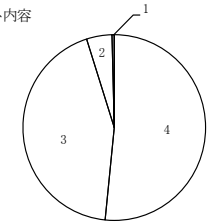
1.理解度



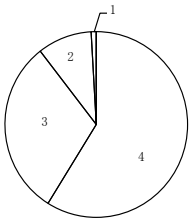
2. 実験項目



3. テキスト内容



4. 実験設備

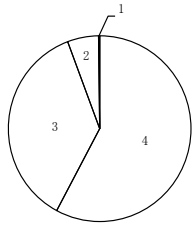


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

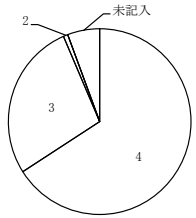
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。	4	適切に管理されていた	306	57.8
	3	概ね適切に管理されていた	193	36.5
	2	あまり管理されていなかった	29	5.5
	1	全く管理されていなかった	1	0.2
		未記入	0	0.0
6. 劇毒物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。	4	十分配慮されていた	349	66.0
	3	ある程度配慮されていた	146	27.6
	2	あまり配慮されていなかった	4	0.8
	1	全く配慮されていなかった	0	0.0
		未記入	30	5.7
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。	4	適切であった	335	63.3
	3	概ね適切であった	169	31.9
	2	あまり適切でなかった	11	2.1
	1	全く適切でなかった	1	0.2
		未記入	13	2.5
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4	十分だった	328	62.0
	3	概ね十分だった	177	33.5
	2	多少不十分だった	23	4.3
	1	不十分だった	1	0.2
		未記入	0	0.0

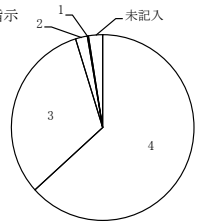
5. 機器管理



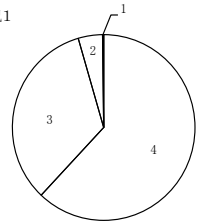
6. 安全管理



7. 後処理指示



8. 指導状況1

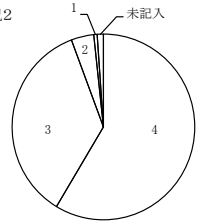


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

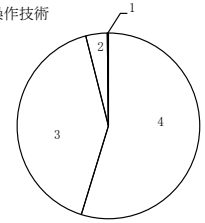
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項	選択項目		回答	比率 %
9．TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4	十分だった	310	58.6
	3	概ね十分だった	189	35.7
	2	多少不十分だった	21	4.0
	1	不十分だった	3	0.6
		未記入	6	1.1
10．機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。	4	十分だった	290	54.8
	3	概ね十分だった	218	41.2
	2	多少不十分だった	20	3.8
	1	不十分だった	1	0.2
		未記入	0	0.0
11．レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。	4	大いに役立った	247	46.7
	3	ある程度役立った	262	49.5
	2	あまり役立たなかった	9	1.7
	1	全く役立たなかった	0	0.0
		未記入	11	2.1
12．データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。	4	十分あった	265	50.1
	3	概ね十分あった	241	45.6
	2	多少不十分だった	19	3.6
	1	不十分だった	2	0.4
		未記入	2	0.4

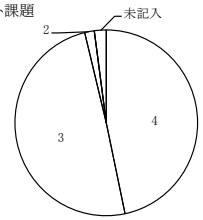
9．指導状況2



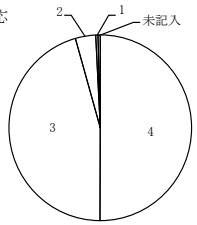
10．実験操作技術



11．レポート課題



12．学生対応

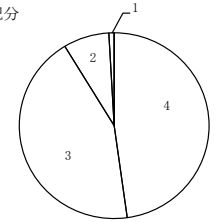


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

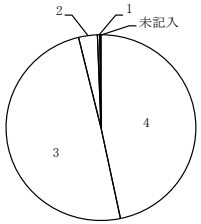
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項	選択項目		回答	比率 %
13．実験の時間配分は適切でしたか。	4	適切であった	253	47.8
	3	概ね適切であった	230	43.5
	2	あまり適切でなかった	41	7.8
	1	全く適切でなかった	5	0.9
		未記入	0	0.0
14．この実験科目にあなたは満足できましたか。	4	大いに満足した	247	46.7
	3	ある程度満足した	262	49.5
	2	あまり満足しなかった	17	3.2
	1	全く満足しなかった	2	0.4
		未記入	1	0.2
16．この実験に何回欠席しましたか。	4	欠席しなかった	496	93.8
	3	1回欠席	22	4.2
	2	2回欠席	4	0.8
	1	3回以上欠席	6	1.1
		未記入	1	0.2
17．この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。	4	3時間以上	106	20.0
	3	2時間以上～3時間未満	88	16.6
	2	2時間未満	260	49.1
	1	しなかった	72	13.6
		未記入	3	0.6

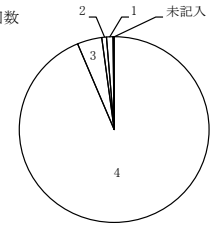
13．時間配分



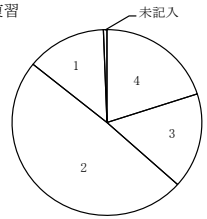
14．満足度



16．出席回数



17．予習・復習

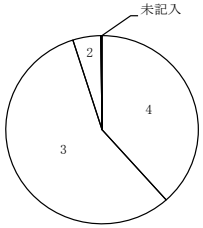


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項	選択項目		回答	比率 %
18．実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4	大いに集中できた	203	38.4
	3	ある程度集中できた	300	56.7
	2	あまり集中できなかった	25	4.7
	1	全く集中できなかった	0	0.0
		未記入	1	0.2

18．集中度

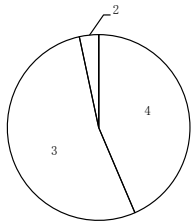


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

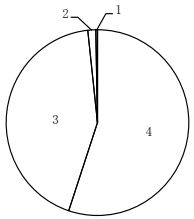
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項	選択項目		回答	比率 %
1．実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	4	よく理解できた	127	43.5
	3	ある程度理解できた	155	53.1
	2	あまり理解できなかった	10	3.4
	1	全く理解できなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
2．各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。	4	十分配慮されていた	161	55.1
	3	ある程度配慮されていた	126	43.2
	2	あまり配慮されていなかった	4	1.4
	1	全く配慮されていなかった	1	0.3
		未記入	0	0.0
3．テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。	4	適切であった	135	46.2
	3	概ね適切であった	140	47.9
	2	あまり適切でなかった	16	5.5
	1	全く適切でなかった	1	0.3
		未記入	0	0.0
4．実験機器・設備は十分でしたか。	4	十分だった	137	46.9
	3	概ね十分だった	131	44.9
	2	多少不十分だった	23	7.9
	1	不十分だった	1	0.3
		未記入	0	0.0

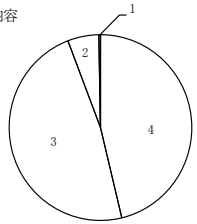
1.理解度



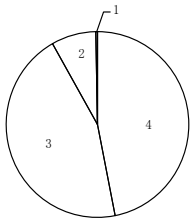
2．実験項目



3．テキスト内容



4．実験設備

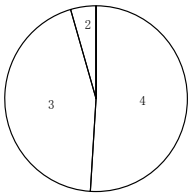


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

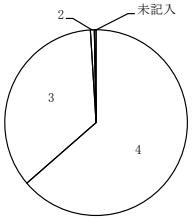
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項	選択項目		回答	比率 %
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。	4	適切に管理されていた	149	51.0
	3	概ね適切に管理されていた	130	44.5
	2	あまり管理されていなかった	13	4.5
	1	全く管理されていなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
6. 劇毒物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。	4	十分配慮されていた	186	63.7
	3	ある程度配慮されていた	103	35.3
	2	あまり配慮されていなかった	2	0.7
	1	全く配慮されていなかった	0	0.0
		未記入	1	0.3
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。	4	適切であった	178	61.0
	3	概ね適切であった	105	36.0
	2	あまり適切でなかった	8	2.7
	1	全く適切でなかった	1	0.3
		未記入	0	0.0
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4	十分だった	160	54.8
	3	概ね十分だった	115	39.4
	2	多少不十分だった	14	4.8
	1	不十分だった	3	1.0
		未記入	0	0.0

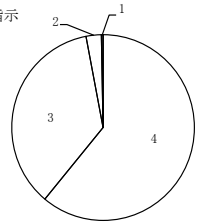
5. 機器管理



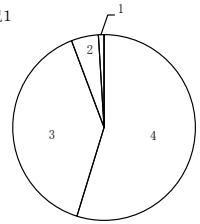
6. 安全管理



7. 後処理指示



8. 指導状況1

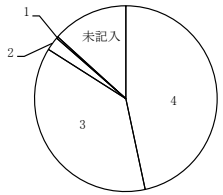


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

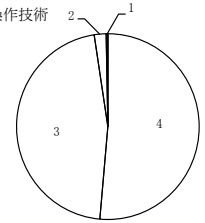
時間割コード　：AB0000
授業科目名　：全科目合計
担当教員名　：

質問事項	選択項目		回答	比率 %
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4	十分だった	136	46.6
	3	概ね十分だった	109	37.3
	2	多少不十分だった	7	2.4
	1	不十分だった	1	0.3
		未記入	39	13.4
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。	4	十分だった	150	51.4
	3	概ね十分だった	135	46.2
	2	多少不十分だった	6	2.1
	1	不十分だった	1	0.3
		未記入	0	0.0
11. レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。	4	大いに役立った	133	45.5
	3	ある程度役立った	142	48.6
	2	あまり役立たなかった	6	2.1
	1	全く役立たなかった	1	0.3
		未記入	10	3.4
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。	4	十分あった	125	42.8
	3	概ね十分あった	135	46.2
	2	多少不十分だった	23	7.9
	1	不十分だった	1	0.3
		未記入	8	2.7

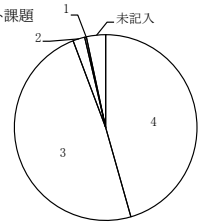
9. 指導状況2



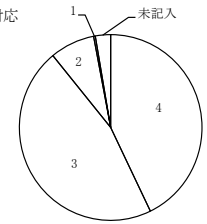
10. 実験操作技術



11. レポート課題



12. 学生対応



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

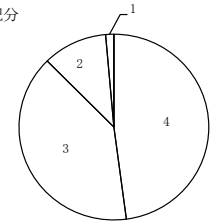
時間割コード　：AB0000

授業科目名　：全科目合計

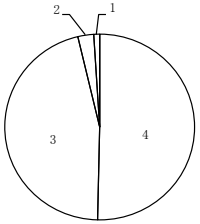
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
13．実験の時間配分は適切でしたか。	4	適切であった	140	47.9
	3	概ね適切であった	116	39.7
	2	あまり適切でなかった	32	11.0
	1	全く適切でなかった	4	1.4
		未記入	0	0.0
14．この実験科目にあなたは満足できましたか。	4	大いに満足した	147	50.3
	3	ある程度満足した	134	45.9
	2	あまり満足しなかった	8	2.7
	1	全く満足しなかった	3	1.0
		未記入	0	0.0
16．この実験に何回欠席しましたか。	4	欠席しなかった	265	90.8
	3	1回欠席	15	5.1
	2	2回欠席	4	1.4
	1	3回以上欠席	3	1.0
		未記入	5	1.7
17．この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。	4	3時間以上	47	16.1
	3	2時間以上～3時間未満	39	13.4
	2	2時間未満	133	45.5
	1	しなかった	66	22.6
		未記入	7	2.4

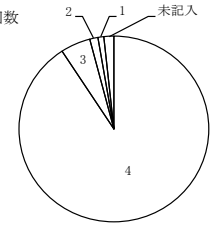
13．時間配分



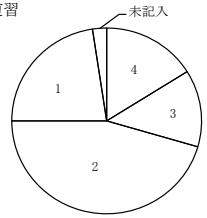
14．満足度



16．出席回数



17．予習・復習



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

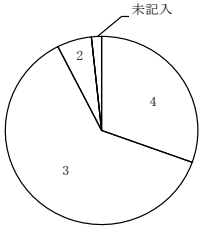
時間割コード　：AB0000

授業科目名　：全科目合計

担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
18．実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4	大いに集中できた	89	30.5
	3	ある程度集中できた	181	62.0
	2	あまり集中できなかった	17	5.8
	1	全く集中できなかった	0	0.0
		未記入	5	1.7

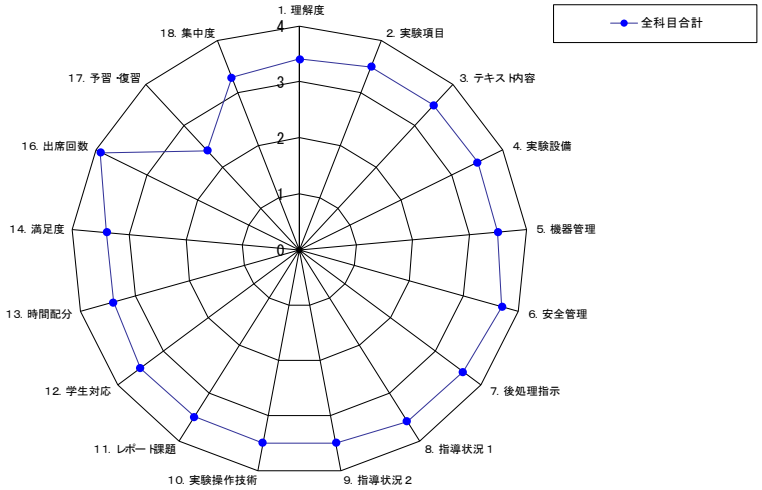
18．集中度

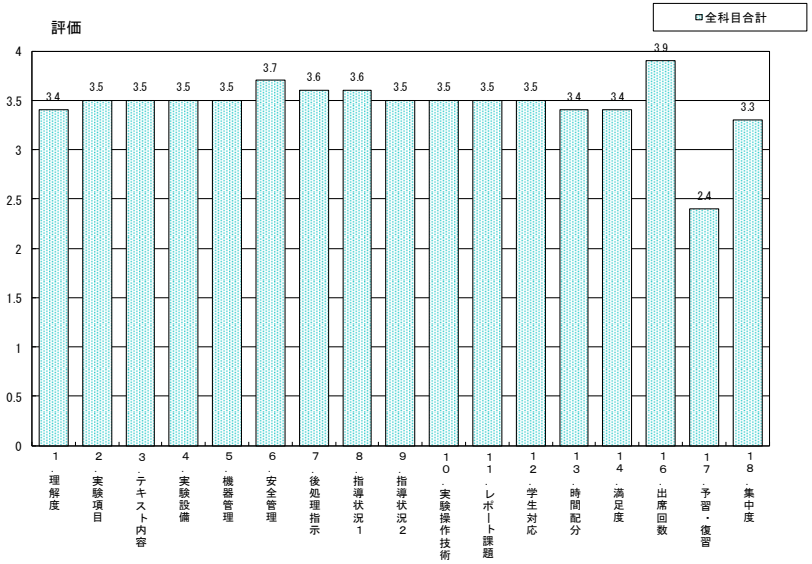


○実験・実習全科目の集計結果と集計表

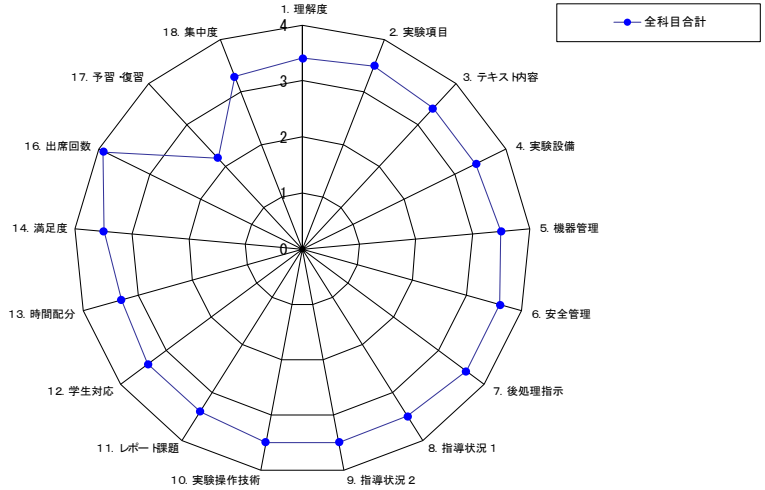
各設問に対する 4 段階評価の実験・実習全科目の平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席回数を示す設問⑯はすべての設問の中で最も点数が高く 3.9 であった。1、2 学期とも比較的高い点数と思われる 3.5 を超える点数であったのは、⑥安全管理、⑦後処理指示であった。一方、平均点より大幅に低かった設問は⑰予習・復習だけであり、1 学期、2 学期ともに 2.5 を下回った。その他の項目は 3.3～3.5 と概ね高評価であった。

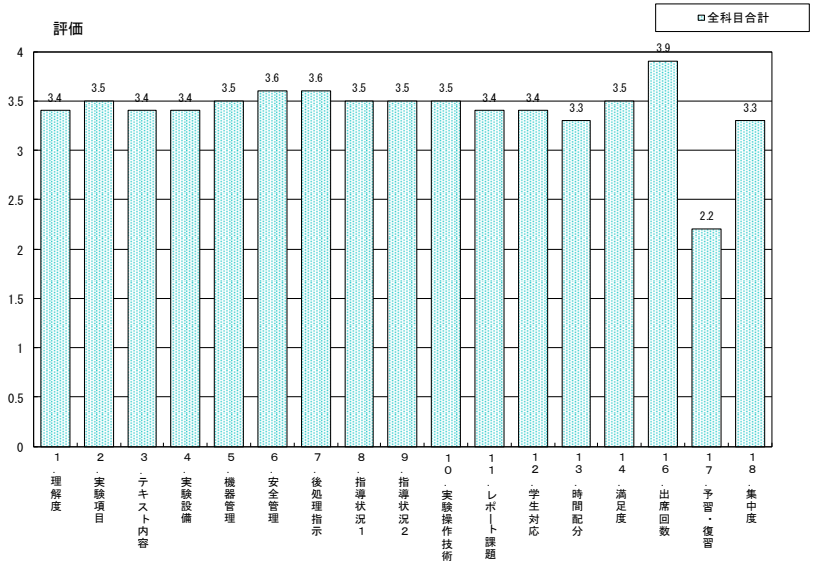
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）
全科目合計





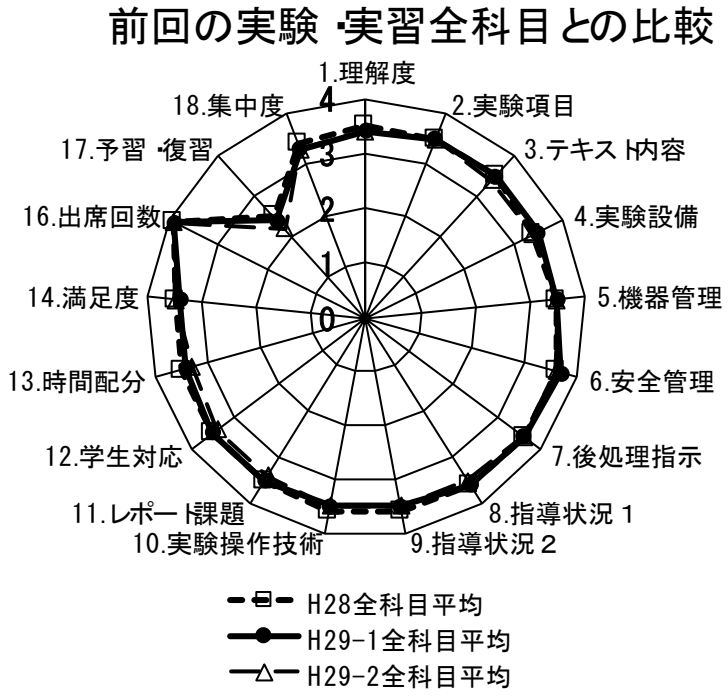
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）
全科目合計





○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回（平成 28 年度実施）と同じである。1学期と2学期ともに前回の通年での回答と比べて大きな変化はないようである。



4. 参考資料

1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙（平成 29 年度）
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙（平成 29 年度）
2) 授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）（平成 29 年度）
3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について
4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について
5) 「農学部授業担当教員」「学生による授業評価」に関する意見等について
「農学部実験・実習担当教員」「学生による実験・実習評価」に関する意見等について

質問用紙 1(マークシート)

コース　　学年　　氏名

切り取り線

講義名

東北大学農学部の講義に関するアンケート

このアンケートは農学部の講義の改善に学生諸君の意見を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回答を期待します。
質問について、該当すると思われる項目の番号を□に記入してください。また、記述質問について、あなたの意見を自由に書いてください。
なお、このアンケートへの回答が記入者の不利益とならないよう、用紙が教務係へ提出されたのち、氏名欄を切り離して集計します。
また、質問に対する回答は集計後に教員へ開示されます。

					記入欄
			必修	選択	
①いまこの場で受講している講義の種類			2	1	□
②この講義にどの程度出席しましたか。	90%以上	80-90%	70-80%	70%以下	□
	4	3	2	1	
③出席率等から、この授業を評価する資格があると思いますか。	充分ある	一応ある	あまりない	全くない	□
	4	3	2	1	
④この講義について予習・復習をしましたか。	よくした	した	あまりしなかった	全くしなかった	□
	4	3	2	1	
⑤この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	極めて熱心に取り組んだ	熱心に取り組んだ	あまり熱心に取り組まなかった	全く熱心に取り組まなかった	□
	4	3	2	1	
⑥授業概要(シラバス)は有用でしたか。	大いに有用だった	有用だった	あまり有用でなかった	有用でなかった	□
	4	3	2	1	
⑦授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。	行われていた	だいたい行われていた	あまり行われていなかった	全く行われていなかった	□
	4	3	2	1	
⑧内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	よくされていた	されていた	あまりされていなかった	極めて不十分だった	□
	4	3	2	1	
⑨講義について教員の熱意を感じましたか。	大いに感じた	感じた	あまり感じなかった	全く感じなかった	□
	4	3	2	1	
⑩講義を進める速度は適切でしたか。(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)	適切だった	概ね適切だった	あまり適切でなかった	全く適切でなかった	□
	4	3	2	1	
⑪説明は良く聞き取れましたか。	よく聞き取れた	聞き取れた	聞き取りにくかった	聞き取れなかった	□
	4	3	2	1	
⑫板書等の文字は、読み易かったですか。	大変読み易かった	読み易かった	読みにくかった	非常に読みにくかった	□
	4	3	2	1	
⑬視聴覚・情報機器が利用された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(利用されなかった場合、記入は不要です。)	大いに役立った	役立った	あまり役立たなかった	全く役立たなかった	□
	4	3	2	1	
⑭資料の配布や教材の使用・模擬実験があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(ない場合は、記入不要です。)	大いに役立った	役立った	あまり役立たなかった	全く役立たなかった	□
	4	3	2	1	
⑮教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。(紹介されなかった場合、記入は不要です。)	大いに役立った	役立った	あまり役立たなかった	全く役立たなかった	□
	4	3	2	1	
⑯宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(課されなかった場合、記入は不要です。)	大いに役立った	役立った	あまり役立たなかった	全く役立たなかった	□
	4	3	2	1	
⑰この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)	適切である	ほぼ適切である	あまり適切でない	適切でない	□
	4	3	2	1	
⑱講義内容はどの程度理解したと思いますか。	よく理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	□
	4	3	2	1	
⑲講義の難易度は適切でしたか。(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)	適切だった	概ね適切だった	あまり適切でなかった	全く適切でなかった	□
	4	3	2	1	
⑳総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	大変満足した	ある程度満足した	あまり満足しなかった	全く満足しなかった	□
	4	3	2	1	

【記述欄】この講義に関して、「よい点」と「改善すべき点」に分けて自由に書いて下さい。用紙が不足する場合は裏面を利用して下さい。

・よい点

・改善すべき点

質問用紙

コース　　学年　　氏名

切り取り線

講義名

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート

このアンケートは農学部の実験・実習の改善に学生諸君の意見を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回答を期待します。
回答は該当する番号を記入欄に記入して下さい。また、記述質問について、あなたの意見を自由に書いてください。
なお、このアンケートへの回答が記入者の不利益とならないよう、集計は氏名欄を切り離して行います。
また、質問に対する回答は集計後に教員へ開示されます。

Ⅰ 実験に関する質問	記入欄
1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。 (4:よく理解できた, 3:ある程度理解できた, 2:あまり理解できなかった, 1:全く理解できなかった)	
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。 (4:十分配慮されていた, 3:ある程度配慮されていた, 2:あまり配慮されていなかった, 1:全く配慮されていなかった)	
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)	
4. 実験機器・設備は十分でしたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)	
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。 (4:適切に管理されていた, 3:概ね適切に管理されていた, 2:あまり管理されていなかった, 1:全く管理されていなかった)	
6. 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。(危険物等のない場合、記入は不要です。) (4:十分配慮されていた, 3:ある程度配慮されていた, 2:あまり配慮されていなかった, 1:全く配慮されていなかった)	
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)	
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)	
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)	
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。 (4:十分だった, 3:概ね十分だった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)	
11. レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の探い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。 (4:大いに役立った, 3:ある程度役立った, 2:あまり役立たなかった, 1:全く役立たなかった)	
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。 (4:十分あった, 3:概ね十分あった, 2:多少不十分だった, 1:不十分だった)	
13. 実験の時間配分は適切でしたか。 (4:適切であった, 3:概ね適切であった, 2:あまり適切でなかった, 1:全く適切でなかった)	
14. この実験科目にあなたは満足できましたか。 (4:大いに満足した, 3:ある程度満足した, 2:あまり満足しなかった, 1:全く満足しなかった)	

【記述欄】実験に関して「よい点」と「改善すべき点」に分けて自由に書いて下さい。用紙が不足する場合は裏面を利用して下さい。
・よい点

・改善すべき点

Ⅱ あなたの実験への取り組み	記入欄
16. この実験に何回欠席しましたか。 (4:欠席しなかった, 3:1回欠席, 2:2回欠席, 1:3回以上欠席)	
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。 (4:3時間以上, 3:2時間以上～3時間未満, 2:2時間未満, 1:しなかった)	
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。 (4:大いに集中できた, 3:ある程度集中できた, 2:あまり集中できなかった, 1:全く集中できなかった)	

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年度1学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	2,515	2,863	87.8%
AB1101	資源有機化学	99	169	58.6%
AB1111	昆虫生理生態学	21	23	91.3%
AB1112	地球環境システム論	10	10	100.0%
AB1113	動物栄養生化学	27	31	87.1%
AB1114	生物海洋学	28	31	90.3%
AB1121	植物発生生理学	39	39	100.0%
AB1131	食用作物学	40	42	95.2%
AB1132	草地科学	29	31	93.5%
AB1134	栄養生理学	37	40	92.5%
AB1141	遺伝育種学	25	30	83.3%
AB1151	動物資源開発学	23	23	100.0%
AB1201	農村地域組織論	9	12	75.0%
AB1202	動物生殖科学	26	29	89.7%
AB1203	水産資源生態学	22	25	88.0%
AB1204	植物栄養生理学	35	40	87.5%
AB1205	科学英語講読Ⅰ	29	30	96.7%
AB1211	開発経済学	9	12	75.0%
AB1212	動物微生物科学	30	31	96.8%
AB1213	水圏植物生態学	25	29	86.2%
AB1214	微生物生化学	58	61	95.1%
AB1215	科学英語講読Ⅰ	28	30	93.3%
AB1301	生物化学	125	144	86.8%
AB1311	広域資源調査学	25	31	80.6%
AB1312	動物機能形態学	28	28	100.0%
AB1321	栽培植物環境科学	31	31	100.0%
AB1324	家畜人工授精論	28	29	96.6%
AB1326	食品タンパク質化学	29	30	96.7%
AB1331	アグリビジネス論	28	30	93.3%
AB1332	酵素化学	78	102	76.5%
AB1401	動物生理科学	29	29	100.0%
AB1402	資源生物生理学	25	34	73.5%
AB1403	分析有機化学	50	56	89.3%
AB1405	植物感染応答学	28	30	93.3%
AB1411	植物育種学各論	25	29	86.2%
AB1412	ミルク科学	41	64	64.1%
AB1413	水圏植物学	22	28	78.6%
AB1415	農業経済政策学	13	13	100.0%
AB1421	科学英語講読Ⅰ	11	12	91.7%
AB1422	科学英語講読Ⅰ	23	23	100.0%
AB1441	生物生産情報処理概論	31	32	96.9%
AB1442	入門演習	11	12	91.7%
AB1501	農学と社会・環境	140	154	90.9%
AB1503	経営学	12	12	100.0%
AB1511	果樹園芸学	20	22	90.9%
AB1513	環境システム生物学	24	29	82.8%
AB1514	水産利用学	21	29	72.4%
AB1515	生物制御化学	47	56	83.9%
AB1521	生理・生態学概論	152	154	98.7%
AB1522	政治経済学	12	12	100.0%
AB1523	物理化学	88	115	76.5%
AB1532	環境と倫理	8	14	57.1%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB1533	生物統計学	33	37	89.2%
AB1541	現代における農と農学	158	160	98.8%
AB1542	植物遺伝学	31	31	100.0%
AB1543	ミクロ経済学	13	14	92.9%
AB1551	応用土壌学	18	24	75.0%
AB1561	植物生命科学入門	29	29	100.0%
AB1611	陸圏環境コミュニケーション論	152	160	95.0%
AB1631	科学英語講読Ⅰ	30	31	96.8%
AB1641	資源環境経済学特別講義Ⅰ	15	15	100.0%
AB1642	動物寄生体学	22	23	95.7%
AB1656	農学英語	1	1	100.0%
AB1701	生産フィールド実習Ⅰ／Ⅱ／農場実習Ａ	42	42	100.0%
AB2322	日本農業史	17	17	100.0%
AB2643	公衆衛生学	48	61	78.7%
AB2663	復興農学	30	44	68.2%
AB57141	資源環境経済学演習Ⅰ	12	12	100.0%
AB57151	フィールド社会技術学演習Ⅰ	1	1	100.0%
AB57171	特別演習Ⅰ	1	1	100.0%
AB57181	経営経済学演習Ⅰ	5	5	100.0%
AB57191	開発経済学演習Ⅰ	3	3	100.0%

東北大学農学部実習・実験に関するアンケート集計結果（平成29年度1学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	529	530	99.8%
AB5711102	学生実験（作物学）	31	31	100.0%
AB5711104	学生実験（土壌立地学）	31	31	100.0%
AB5711106	学生実験（環境適応生物工学）	31	31	100.0%
AB5711107	学生実験（生物制御機能学）	30	30	100.0%
AB5711108	学生実験（植物遺伝育種学）	30	30	100.0%
AB5711109	学生実験（植物病理学）	27	27	100.0%
AB5721102	学生実験（動物遺伝育種学）	28	28	100.0%
AB5721103	学生実験（動物生理科学）	26	26	100.0%
AB5721106	学生実験（機能形態学）	28	29	96.6%
AB5731101	学生実験（水圏動物生理学）	24	24	100.0%
AB5731103	学生実験（水圏植物生態学）	23	23	100.0%
AB5731104	学生実験（水産資源化学）	24	24	100.0%
AB5731106	学生実験（生物海洋学）	24	24	100.0%
AB5741104	学生実験（分子酵素学）	29	29	100.0%
AB5741105	学生実験（応用微生物学）	29	29	100.0%
AB5741106	学生実験（生物有機化学）	29	29	100.0%
AB5751103	学生実験（機能分子解析学）	27	27	100.0%
AB5751109	学生実験（活性分子動態）	30	30	100.0%
AB5751110	学生実験（応用生命分子解析）	28	28	100.0%

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（平成29年度2学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	1,687	1,963	85.9%
AB1562	現代日本農業論	9	13	69.2%
AB2101	基礎土壌学	36	44	81.8%
AB2102	生物有機化学	72	93	77.4%
AB2113	食品組織学	10	16	62.5%
AB2114	科学英語講読Ⅱ	30	30	100.0%
AB2121	資源動物生態学	13	13	100.0%
AB2122	資源動物生態学	28	29	96.6%
AB2123	植物細胞生化学	56	59	94.9%
AB2131	植物保護学	13	13	100.0%
AB2132	学術情報リテラシー	26	28	92.9%
AB2133	農村社会学	9	14	64.3%
AB2141	植物系微生物サイエンス	53	58	91.4%
AB2143	食品加工学	84	94	89.4%
AB2151	植物生産科学	38	41	92.7%
AB2152	藻類機能学	28	33	84.8%
AB2153	微生物サイエンス	12	19	63.2%
AB2202	動物遺伝育種学	26	29	89.7%
AB2203	水産増殖学	24	26	92.3%
AB2205	生理活性化学	29	35	82.9%
AB2211	比較農業論	14	16	87.5%
AB2212	食品機能工学	28	29	96.6%
AB2221	バイオインフォマテックス概論	48	65	73.8%
AB2301	野菜園芸学	32	35	91.4%
AB2304	プランクトン学	20	22	90.9%
AB2312	水圏無脊椎動物学	16	25	64.0%
AB2313	科学英語講読Ⅱ	31	31	100.0%
AB2314	環境評価学	11	13	84.6%
AB2321	植物病理学	33	34	97.1%
AB2323	免疫科学	57	60	95.0%
AB2324	水産化学	30	33	90.9%
AB2331	森林生態論	29	38	76.3%
AB2333	生命情報解析学	23	29	79.3%
AB2341	フードシステム論	17	17	100.0%
AB2342	動物組織細胞学	55	60	91.7%
AB2343	植物分子生理学	46	66	69.7%
AB2351	遺伝子工学	98	101	97.0%
AB2402	畜産経営学	6	6	100.0%
AB2403	魚類学	20	28	71.4%
AB2404	反応生物化学	29	34	85.3%
AB2413	動物食品機能学	56	68	82.4%
AB2421	科学英語講読Ⅱ	6	13	46.2%
AB2422	科学英語講読Ⅱ	17	23	73.9%
AB2461	科学英語講読Ⅱ	26	26	100.0%
AB2501	植物育種学	34	36	94.4%
AB2502	経済統計学	10	14	71.4%
AB2511	観賞園芸学	14	16	87.5%
AB2521	昆虫学	28	31	90.3%
AB2522	マクロ経済学	9	11	81.8%
AB2523	栄養化学	93	115	80.9%
AB2534	水産食品管理学	16	17	94.1%
AB2551	植物生理学	30	33	90.9%
AB2552	資源生物生理学	31	34	91.2%
AB2564	専門科学英語基礎	6	6	100.0%
AB2637	科学英語講読Ⅱ	29	31	93.5%
AB2642	漁具漁法学	14	26	53.8%
AB2645	飼料科学	8	9	88.9%
AB2652	科学英語講読Ⅳ	4	4	100.0%
AB57142	資源環境経済学演習Ⅱ	8	12	66.7%
AB57152	フィールド社会技術学演習Ⅱ	2	2	100.0%
AB57192	開発経済学演習Ⅱ	2	2	100.0%
AB57202	環境経済学演習Ⅱ	5	5	100.0%

東北大学農学部実習・実験に関するアンケート集計結果（平成29年度2学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	292	292	100.0%
AB5711102	学生実験（作物学・植物解剖学実験）	28	28	100.0%
AB5711103	学生実験（園芸学）	30	30	100.0%
AB57111041	学生実験（土壌立地学）①	30	30	100.0%
AB5721101	学生実験（動物環境システム学）	29	29	100.0%
AB5721107	学生実験（動物栄養生化学）	18	18	100.0%
AB5721108	学生実験（動物微生物学）	28	28	100.0%
AB5721109	学生実験（動物資源化学）	24	24	100.0%
AB5741101	学生実験（植物細胞生化学）	25	25	100.0%
AB5741103	学生実験（分子生物学）	29	29	100.0%
AB5741105	学生実験（応用微生物学）	25	25	100.0%
AB5751102	学生実験（栄養学）	26	26	100.0%

掲　　示

学　生　諸　君　へ

農学部の学生による授業評価の実施について

平成２９年度第１学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。
この授業評価は、農学部の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることが期待されます。
学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

１．対象授業科目について
奇数セメスターに開講される農学部専門教育科目について実施します。

２．実施方法
授業中に授業担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、授業担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

３．評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の授業改善の参考となります。

平成２９年５月

農　学　部　長

掲　　示

学　生　諸　君　へ

農学部の学生による実験・実習評価の実施について

平成２９年度に開講される実験・実習について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。
この実験・実習評価は、農学部の実験・実習と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の実験・実習に対する考えを把握することにより、今後の実験・実習の改善につながることが期待されます。
学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

１．対象実験・実習科目について
平成２９年度に開講される実験・実習科目について実施します。

２．実施方法
実験・実習中に担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

３．評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の実験・実習の改善の参考となります。

平成２９年５月

農　学　部　長

平成29年5月24日

農学部授業担当教員　各位

農学部評価室長

学生による授業評価の実施について（依頼）

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。

2. 実施日時・方法等
（1）実施日時について
授業評価の実施は原則として、講義の最終日にお願いします。
（2）実施方法について
授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。
（3）評価用紙の提出について
アンケート用紙の回収は、学生（1名）に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いします。
（4）学生への周知について
学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い
（1）評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
（2）アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。
（3）授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

平成29年5月24日

農学部実験・実習担当教員　各位

農学部評価室長

学生による実験・実習評価の実施について（依頼）

このことについて、今年度に開講される実験・実習科目について実施します。
つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、必要枚数を複写の上、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について
今年度（前期および後期）に開講される実験・実習科目について実施します。

2. 実施日時・方法等
（1）実施日時について
実験・実習評価の実施は原則として、実験・実習の最終日にお願いします。
（2）実施方法について
実験・実習を担当している先生方は、実験・実習終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。
（3）評価用紙の提出について
アンケート用紙の回収は、学生（1名）に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いします。
（4）学生への周知について
学生には、実験・実習評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い
（1）評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
（2）アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。
（3）実験・実習個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

平成３０年１月２３日

平成２９年度
農学部授業担当教員　各位

農 学 部 評 価 室 長

平成２９年度「学生による授業評価」に関する意見等について（依頼）

今年度に実施いただいた「学生による授業評価」について、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

第１学期実施分について集計作業が終了いたしましたので、先生方に学生記載のアンケート用紙と集計結果をお送りいたします。また、担当授業の集計データの他に授業科目全体の平均も同封いたします。

つきましては、授業評価集計データをもとに、ご担当の授業に関する学生による評価項目を点検し、代表的な評価項目（１項目ないし２項目）及び主な自由記述内容を挙げていただくとともに、これらについての意見等を授業評価に関する感想・意見（別紙１）にご記入の上、教務係に２月２８日（水）までご提出いただくようお願いいたします。

なお、先生方の意見は今後のカリキュラムの改善等に役立てるとともに、評価書冊子に無記名で掲載させていただきますので、ご承知下さいますようお願いいたします。

別　紙　１

農学部評価室

授業科目名　　**氏名**

１．代表的な評価項目（１項目ないし２項目）及び自由記述内容

２．１に対する意見等

平成３０年１月２３日

平成２９年度
農学部授業担当教員　各位

農 学 部 評 価 室 長

平成２９年度「学生による実験・実習評価」に関する意見等について（依頼）

今年度に実施いただいた「学生による実験・実習評価」について、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

第１学期実施分について集計作業が終了いたしましたので、先生方に学生記載のアンケート用紙と集計結果をお送りいたします。また、担当実験・実習の集計データの他に実験・実習全体の平均も同封いたします。

つきましては、評価集計データをもとに、ご担当の実験・実習に関する学生による評価項目を点検し、代表的な評価項目（１項目ないし２項目）及び主な自由記述内容を挙げていただくとともに、これらについての意見等を実験・実習評価に関する感想・意見（別紙２）にご記入の上、教務係に２月２８日（水）までご提出いただくようお願いいたします。

なお、先生方の意見は今後のカリキュラムの改善等に役立てるとともに、評価書冊子に無記名で掲載させていただきますので、ご承知下さいますようお願いいたします。

別　紙　２

農学部評価室

授業科目名　　実験・実習　　氏名

１．代表的な評価項目（１項目ないし２項目）及び自由記述内容

２．１に対する意見等

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価

II. 学生による農学研究科の授業評価

1. アンケートの実施方法

1）実施概要

学生による農学研究科の授業評価は、博士課程前期 2 年の課程で平成 29 年度 1、2 学期の授業を対象とした。アンケート用紙は選択肢形式の設問 16 項目と自由記述項目からなり、満足度、理解度などを調査する形のものである。

2）実施方針

（1）実施は平成 28 年度に行われた農学研究科の講義を対象とした。
（2）調査の実施は教員の主体性を尊重した。
（3）アンケート調査は、平成 29 年 6 月下旬と平成 30 年 1 月に実施した。

3）アンケート作成

（1）授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともにアンケート用紙にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
（2）設問は授業評価のみにしぼり、カリキュラムや施設等に関する設問は設けなかった。全体集計が可能なように各設問に対する回答は 4 段階評価とし、学部講義、実験・実習の評価と統一した様式で実施した。

4）実施方法の概要

（1）講義については、平成 29 年 6 月下旬および平成 30 年 1 月の各セメスター終了時の授業時間にアンケート用紙を配布し、回収は学生によって行われた。
（2）回収されたアンケート用紙は、学生が封をし、教務係に提出した。
（3）教務係では、回収アンケート用紙の学生の氏名部分を切り取り、業者に集計を依頼した。
（4）教員には、担当の授業に関する集計結果と全科目平均値集計および回収アンケート用紙を手渡し、アンケート集計結果に対する感想・意見を依頼した。
（5）実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
平成 29 年度 1 学期は 25 科目、2 学期は 11 科目で実施された。また、履修届者数は 1 学期 454 名、2 学期 295 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 377 名で回収率は 83.0%、2 学期 211 名で回収率は 71.5%であった。

2.アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は 1 学期と 2 学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、全科目の各設問において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1）アンケート項目

設問①:あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。
設問②:あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。
設問③:質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。
設問④:講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。
設問⑤:シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。
設問⑥:講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。
設問⑦:あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。
設問⑧:視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。
設問⑨:テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。
設問⑩:教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。
設問⑪:理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。
設問⑫:教員は学生に講義への参加（質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。
設問⑬:この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。
設問⑭:あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。
設問⑮:講義に対する教員の熱意を感じましたか。
設問⑯:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2）集計結果、集計表、感想と意見

〇集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:出席状況を問う設問である。80%以上出席としたものが、1 学期、2 学期ともに 95%以上であり高水準である。

設問②～④:講義の難易度と学生の講義に対する取り組みを問う設問である。1、2 学期とも 95%程度の学生が講義の難易度をおおむね適切であったとしている。質問や発言による積極的な取り組みをした学生の 1 学期は 67%、2 学期は 70%、自主的に学習した学生の 1 学期は 69%、2 学期は 75%と昨年度と比べて高い値となっている。

設問⑤、⑥:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスに講義の目的、内容、成績評価基準が適切に示され有用であるとした学生は両学期とも約 95%と高かった。また、講義内容のシラバスとの対応についても両学期とも 97%の学生が対応していたとしている。

設問⑦:講義から知的刺激を受けたかどうかに関する設問である。知的刺激を受けたと感じた学生は 1 学期は 94%、2 学期は 93%であった。

設問⑧、⑨:講義で使われる機器や教材の有用性に関する設問である。教材が役立ったとした学生は

1 学期は 95%であったが、2 学期は 88%とやや低かった。

設問⑩～⑫：教員の講義の仕方に関する設問である。1、2 学期ともに 99%の学生が教員の声や話し方が聞き取りやすかった、ないしは概ね聞き取りやすかったと感じている。また、講義の組み立てに関しても 95%程度の学生が分かりやすさについて良好な評価を行っている。自主学習を促す指導と討議への対応に関しては、1 学期は 93%、2 学期は 95%の学生が良好な評価を行っている。

設問⑬～⑮：オフィスアワーの設定、講義の進度、教員の熱意に関する設問である。1、2 学期を通して約 95%の学生がオフィスアワーの設定が適切であると感じている。講義の進度に関しては 98%の学生が適切だとしており、教員の熱意も 99%の学生が感じ取っている。

設問⑯：講義の満足度を問う設問である。両学期とも 95%以上の学生が満足ないしはある程度満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

① 難易度の設定が適切であった。
② 質問や発言による積極的な取り組みをした学生や、自主的に学習した学生の割合が改善されていた。
③ シラバスの有用性と、その実際の講義との対応の評価が高かった。
④ 教員の声、話し方が聞き取りやすく、かつわかりやすかった。
⑤ 進度、教員の熱意、満足度についても評価が高かった。

【改善を要する点】

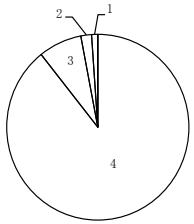
① 質問や発言などによる積極的な取り組みをあまりしなかった学生も依然として 3 割程度存在した。
② 講義に関する自主的な学習をあまりしない、あるいは全くしない学生も 2～3 割いた。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

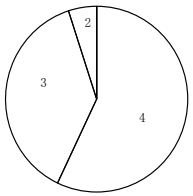
時間割コード　：　AM00000
授業科目名　：　全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。	4	90%以上	337	89.4
	3	80%～90%未満	29	7.7
	2	70%～80%未満	7	1.9
	1	70%未満	4	1.1
		未記入	0	0.0
2．あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。	4	適切であった	215	57.0
	3	概ね適切であった	143	37.9
	2	あまり適切でなかった	19	5.0
	1	全く適切でなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。	4	極めて積極的に取り組んだ	94	24.9
	3	積極的に取り組んだ	160	42.4
	2	あまり積極的に取り組まなかった	105	27.9
	1	全く積極的に取り組まなかった	17	4.5
		未記入	1	0.3
4. 講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。	4	学習した	100	26.5
	3	ある程度学習した	160	42.4
	2	あまり学習しなかった	96	25.5
	1	全く学習しなかった	20	5.3
		未記入	1	0.3

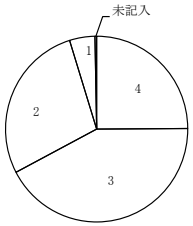
1.出席



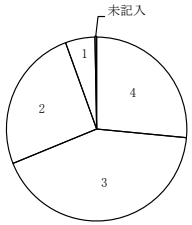
2. 難易度



3. 積極性



4. 自主学習

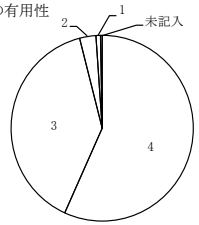


東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）

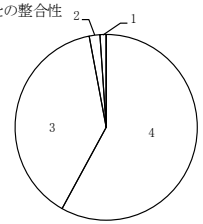
時間割コード　：　AM00000
授業科目名　：　全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
5．シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。	4	有用であった	214	56.8
	3	概ね有用であった	148	39.3
	2	あまり有用でなかった	11	2.9
	1	全く有用でなかった	3	0.8
		未記入	1	0.3
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。	4	対応していた	219	58.1
	3	概ね対応していた	147	39.0
	2	あまり対応していなかった	7	1.9
	1	全く対応していなかった	4	1.1
		未記入	0	0.0
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。	4	思った	190	50.4
	3	ある程度思った	163	43.2
	2	あまり思わなかった	21	5.6
	1	全く思わなかった	3	0.8
		未記入	0	0.0
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。	4	効果的だった	212	56.2
	3	ある程度効果的だった	137	36.3
	2	あまり効果的でなかった	12	3.2
	1	全く効果的でなかった	0	0.0
		未記入	16	4.2

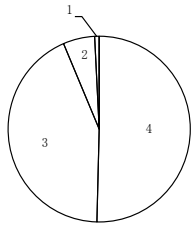
5. シラバスの有用性



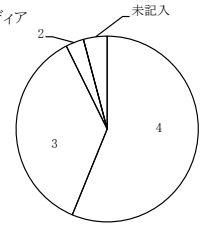
6. シラバスとの整合性



7. 学習意欲



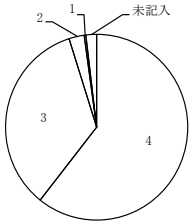
8. 講義メディア



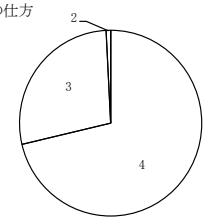
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）
時間割コード　：　AM00000
授業科目名　：　全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
9．テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。	4	役立った	229	60.7
	3	ある程度役立った	130	34.5
	2	あまり役立たなかった	10	2.7
	1	全く役立たなかった	1	0.3
		未記入	7	1.9
10．教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。	4	聞き取りやすかった	269	71.4
	3	概ね聞き取りやすかった	105	27.9
	2	多少聞き取りにくかった	3	0.8
	1	聞き取りにくかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
11．理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。	4	わかりやすかった	209	55.4
	3	概ねわかりやすかった	147	39.0
	2	多少わかりにくかった	20	5.3
	1	わかりにくかった	1	0.3
	3	未記入	0	0.0
12．教員は学生に講義への参加(質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。	4	対応していた	220	58.4
	3	ある程度対応していた	130	34.5
	2	あまり対応していなかった	21	5.6
	1	全く対応していなかった	3	0.8
		未記入	3	0.8

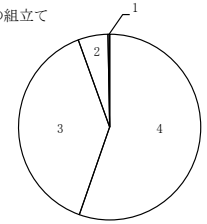
9. 教材



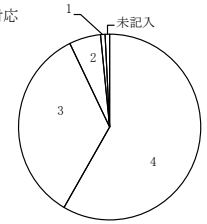
10. 説明の仕方



11. 講義の組立て



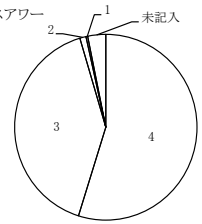
12. 学生対応



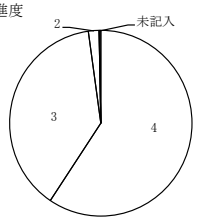
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）
時間割コード　：　AM00000
授業科目名　：　全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
13．この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4	適切である	207	54.9
	3	ほぼ適切である	153	40.6
	2	あまり適切でない	4	1.1
	1	適切でない	1	0.3
		未記入	12	3.2
14．あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。	4	適切であった	224	59.4
	3	概ね適切であった	145	38.5
	2	あまり適切でなかった	7	1.9
	1	全く適切でなかった	0	0.0
		未記入	1	0.3
15．講義に対する教員の熱意を感じましたか。	4	感じた	262	69.5
	3	ある程度感じた	110	29.2
	2	あまり感じなかった	4	1.1
	1	全く感じなかった	1	0.3
		未記入	0	0.0
16．総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4	満足した	246	65.3
	3	ある程度満足した	121	32.1
	2	あまり満足しなかった	9	2.4
	1	全く満足しなかった	0	0.0
		未記入	1	0.3

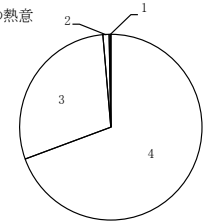
13. オフィスアワー



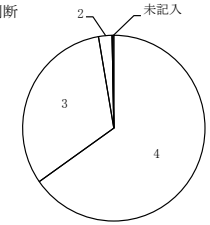
14. 講義の進度



15. 教員の熱意



16. 総合判断



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

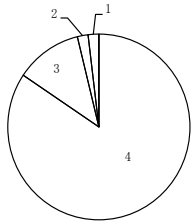
時間割コード　：　AM00000

授業科目名　：　全科目合計

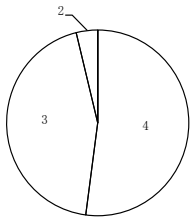
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。	4	90%以上	178	84.4
	3	80%～90%未満	25	11.8
	2	70%～80%未満	4	1.9
	1	70%未満	4	1.9
		未記入	0	0.0
2．あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。	4	適切であった	110	52.1
	3	概ね適切であった	93	44.1
	2	あまり適切でなかった	8	3.8
	1	全く適切でなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。	4	極めて積極的に取り組んだ	55	26.1
	3	積極的に取り組んだ	92	43.6
	2	あまり積極的に取り組まなかった	54	25.6
	1	全く積極的に取り組まなかった	10	4.7
		未記入	0	0.0
4. 講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。	4	学習した	62	29.4
	3	ある程度学習した	96	45.5
	2	あまり学習しなかった	41	19.4
	1	全く学習しなかった	12	5.7
		未記入	0	0.0

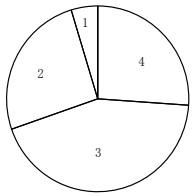
1.出席



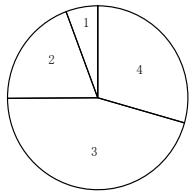
2. 難易度



3. 積極性



4. 自主学習



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）

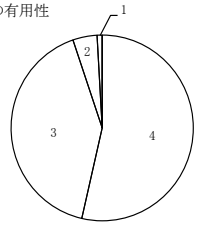
時間割コード　：　AM00000

授業科目名　：　全科目合計

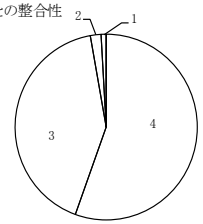
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
5．シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。	4	有用であった	113	53.6
	3	概ね有用であった	87	41.2
	2	あまり有用でなかった	9	4.3
	1	全く有用でなかった	2	0.9
		未記入	0	0.0
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。	4	対応していた	117	55.5
	3	概ね対応していた	88	41.7
	2	あまり対応していなかった	4	1.9
	1	全く対応していなかった	2	0.9
		未記入	0	0.0
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。	4	思った	97	46.0
	3	ある程度思った	100	47.4
	2	あまり思わなかった	11	5.2
	1	全く思わなかった	3	1.4
		未記入	0	0.0
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。	4	効果的だった	127	60.2
	3	ある程度効果的だった	73	34.6
	2	あまり効果的でなかった	3	1.4
	1	全く効果的でなかった	0	0.0
		未記入	8	3.8

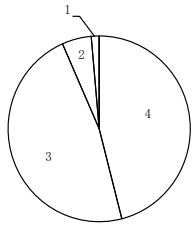
5. シラバスの有用性



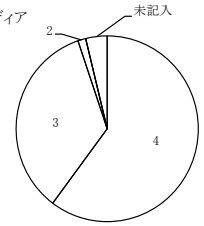
6. シラバスとの整合性



7. 学習意欲



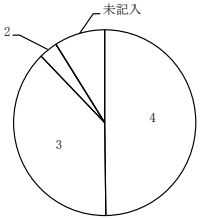
8. 講義メディア



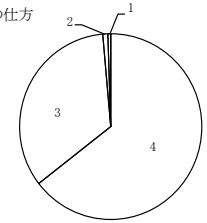
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）
時間割コード　：　AM00000
授業科目名　：　全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
9．テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。	4	役立った	105	49.8
	3	ある程度役立った	80	37.9
	2	あまり役立たなかった	7	3.3
	1	全く役立たなかった	0	0.0
		未記入	19	9.0
10．教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。	4	聞き取りやすかった	136	64.5
	3	概ね聞き取りやすかった	72	34.1
	2	多少聞き取りにくかった	2	0.9
	1	聞き取りにくかった	1	0.5
		未記入	0	0.0
11．理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。	4	わかりやすかった	97	46.0
	3	概ねわかりやすかった	101	47.9
	2	多少わかりにくかった	10	4.7
	1	わかりにくかった	2	0.9
	3	未記入	1	0.5
12．教員は学生に講義への参加(質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。	4	対応していた	120	56.9
	3	ある程度対応していた	81	38.4
	2	あまり対応していなかった	9	4.3
	1	全く対応していなかった	1	0.5
		未記入	0	0.0

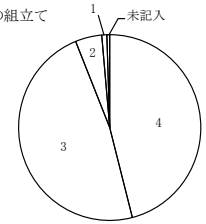
9．教材



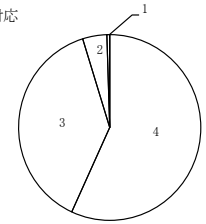
10．説明の仕方



11．講義の組立て



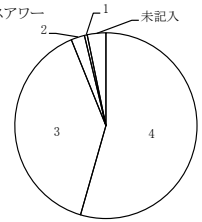
12．学生対応



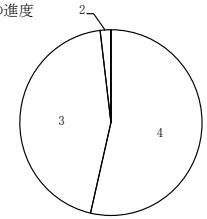
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）
時間割コード　：　AM00000
授業科目名　：　全科目合計
担当教員名　：

質問事項		選択項目	回答	比率 %
13．この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。	4	適切である	115	54.5
	3	ほぼ適切である	83	39.3
	2	あまり適切でない	5	2.4
	1	適切でない	1	0.5
		未記入	7	3.3
14．あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。	4	適切であった	113	53.6
	3	概ね適切であった	94	44.5
	2	あまり適切でなかった	4	1.9
	1	全く適切でなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
15．講義に対する教員の熱意を感じましたか。	4	感じた	128	60.7
	3	ある程度感じた	80	37.9
	2	あまり感じなかった	3	1.4
	1	全く感じなかった	0	0.0
		未記入	0	0.0
16．総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4	満足した	107	50.7
	3	ある程度満足した	93	44.1
	2	あまり満足しなかった	8	3.8
	1	全く満足しなかった	3	1.4
		未記入	0	0.0

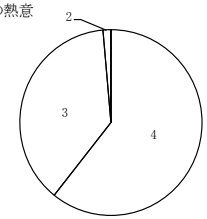
13．オフィスアワー



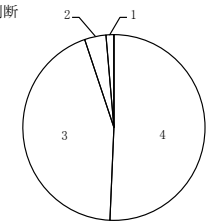
14．講義の進度



15．教員の熱意



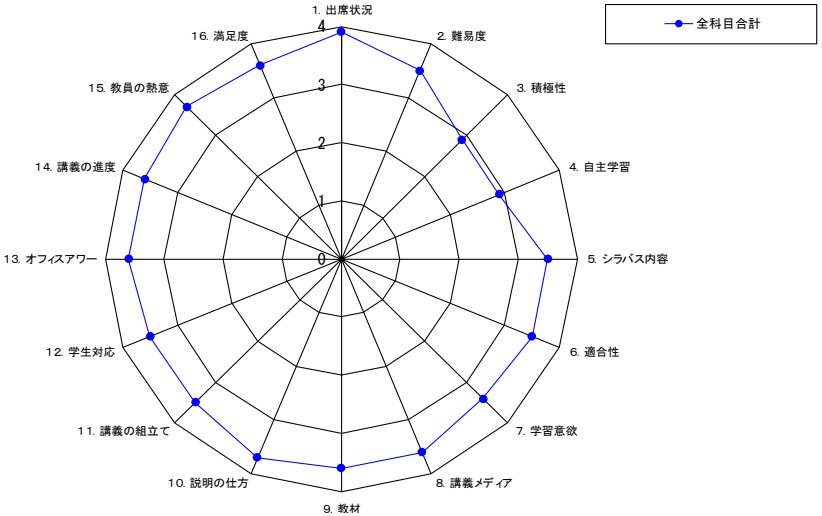
16．総合判断

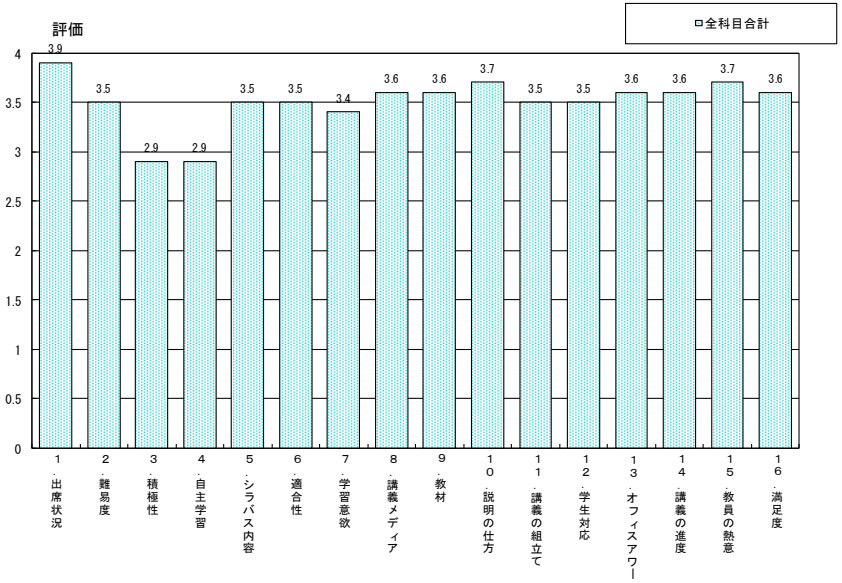


○全科目の集計結果と集計表

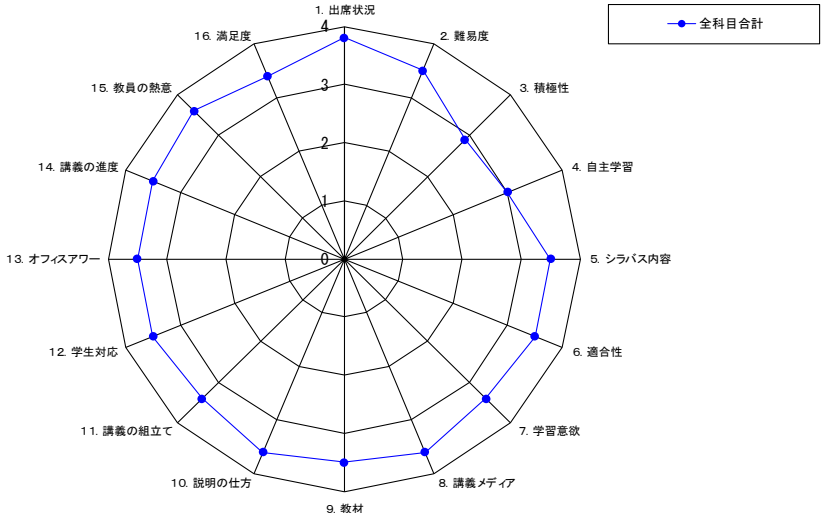
各設問に対する 4 段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席状況が 1 学期、2 学期とも最も高く、3.9 および 3.8 であった。他にも、講義メディアの活用、説明の仕方、教員の熱意が特に高く、両学期とも 3.5 を超える評価であった。一方、積極性、自主学習については 3 以下であり、やや評価が低かった。その他の項目は 3.4～3.6 と評価が高かった。

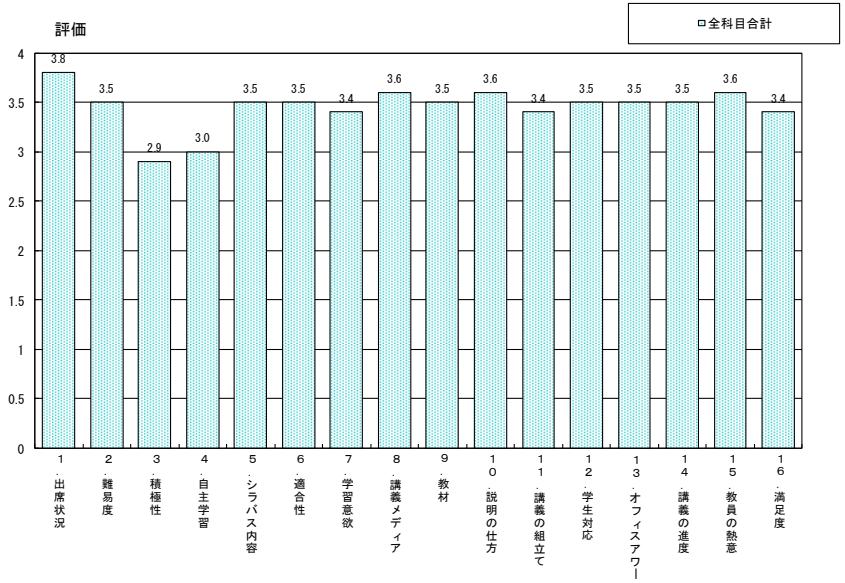
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年1学期）
全科目合計





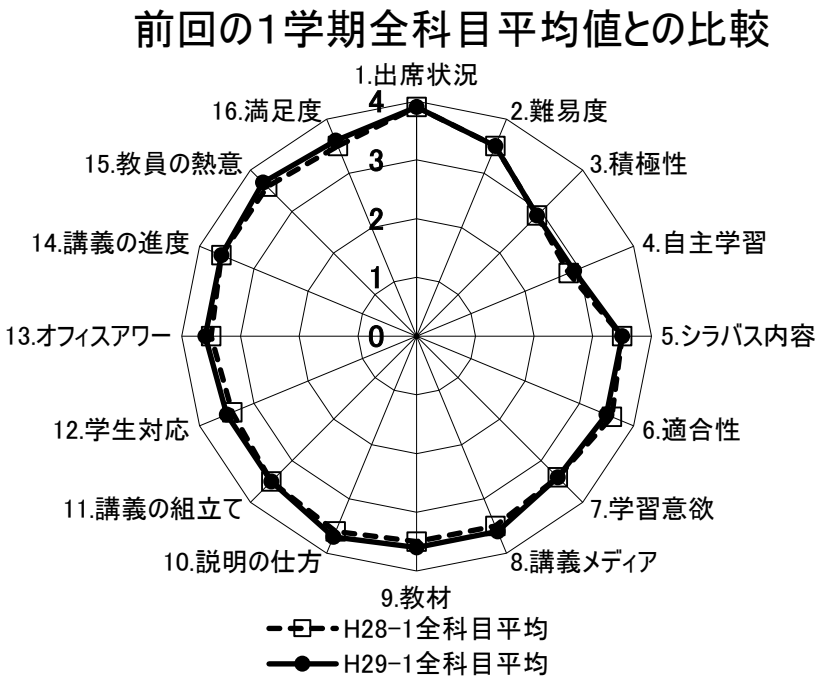
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年2学期）
全科目合計

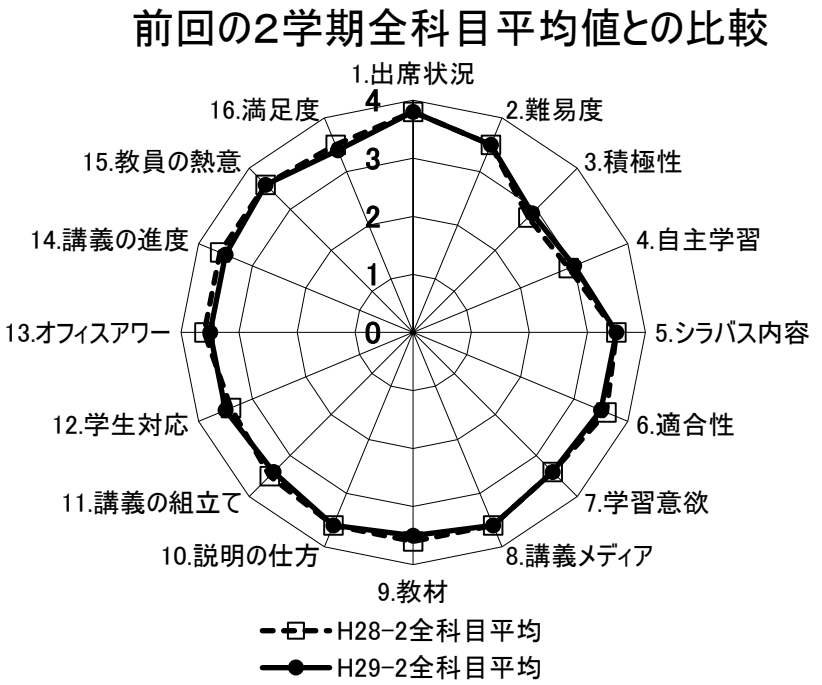




○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回（平成 28 年度実施）と同じである。アンケートは内容、設問数ともに前回（平成 28 年度実施）と同じである。1 学期、2 学期とも前回と大きな変化はないようである。





３．参考資料

1）東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙（平成 29 年度）
2）授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）（平成 29 年度）
3）「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について
4）「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について
5）「農学研究科授業担当教員」「大学院学生による授業評価」に関する意見等について

質問用紙

専攻＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 学年＿＿＿＿ 氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

…… 切り取り線 ……

講義名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 担当教員名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート

このアンケートは農学研究科の講義の改善に学生諸君の意見を生かそうとするものです。率直かつ真摯な回答を期待します。
質問について、回答は該当する番号を記入して下さい。また、記述質問について、あなたの意見を自由に書いてください。
なお、このアンケートへの回答が記入者の不利益とならないよう、集計は氏名欄を切り離して行います。
また、質問に対する回答は集計後に教員へ開示されます。

【あなた自身についての質問】	記入欄
1. あなたはこの講義にどの程度出席しましたか。 （4:90%以上， 3:80%～90%未満， 2:70%～80%未満， 1:70%未満）	
2. あなたにとって、講義内容の難易度は適切なものでしたか。 （4:適切であった， 3:概ね適切であった， 2:あまり適切でなかった， 1:全く適切でなかった）	
3. 質問や発言などにより、あなたは積極的に取り組みましたか。 （4:極めて積極的に取り組んだ， 3:積極的に取り組んだ， 2:あまり積極的に取り組まなかった， 1:全く積極的に取り組まなかった）	
4. 講義に関する内容について、自主的に学習をしましたか。 （4:学習した， 3:ある程度学習した， 2:あまり学習しなかった， 1:全く学習しなかった）	

【講義と教員についての質問】	記入欄
5. シラバスは、講義の目的、内容、成績評価の基準が適切に示されるなど有用でしたか。 （4:有用であった， 3:概ね有用であった， 2:あまり有用でなかった， 1:全く有用でなかった）	
6. 講義の内容はシラバスの内容と対応していましたか。 （4:対応していた， 3:概ね対応していた， 2:あまり対応していなかった， 1:全く対応していなかった）	
7. あなたは講義により知的な刺激を受け、さらに関連する分野を学んでみたいと思いましたか。 （4:思った， 3:ある程度思った， 2:あまり思わなかった， 1:全く思わなかった）	
8. 視聴覚、情報機器等を使用する講義の場合、使い方は効果的でしたか。（ない場合は記入不要） （4:効果的だった， 3:ある程度効果的だった， 2:あまり効果的でなかった， 1:全く効果的でなかった）	
9. テキストやプリントなどの教材は講義内容を理解するのに役立ちましたか。（ない場合は記入不要） （4:役立った， 3:ある程度役立った， 2:あまり役立たなかった， 1:全く役立たなかった）	
10. 教員の声、話し方は聞き取りやすかったですか。 （4:聞き取りやすかった， 3:概ね聞き取りやすかった， 2:多少聞き取りにくかった， 1:聞き取りにくかった）	
11. 理解すべき重要な箇所が強調されるなど、講義はわかりやすかったですか。 （4:わかりやすかった， 3:概ねわかりやすかった， 2:多少わかりにくかった， 1:わかりにくかった）	
12. 教員は学生に講義への参加（質問、発言、自主的学習など）を促し、質問や討論に充分に対応していましたか。 （4:対応していた， 3:ある程度対応していた， 2:あまり対応していなかった， 1:全く対応していなかった）	
13. この講義のオフィスアワーは利用上適切に設定されていますか。 （4:適切である， 3:ほぼ適切である， 2:あまり適切でない， 1:適切でない）	
14. あなたにとって、講義の進度は適切なものでしたか。 （4:適切であった， 3:概ね適切であった， 2:あまり適切でなかった， 1:全く適切でなかった）	
15. 講義に対する教員の熱意を感じましたか。 （4:感じた， 3:ある程度感じた， 2:あまり感じなかった， 1:全く感じなかった）	
16. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。 （4:満足した， 3:ある程度満足した， 2:あまり満足しなかった， 1:全く満足しなかった）	

【記述欄】この講義に関して、「よい点」と「改善すべき点」に分けて自由に書いて下さい。
用紙が不足する場合は裏面を利用して下さい。

・よい点

・改善すべき点

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年度1学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	377	454	83.0%
AM1111	水圏植物生態学特論	5	5	100.0%
AM1131	水圏資源生態学特論	11	14	78.6%
AM1132	草地科学特論	14	19	73.7%
AM1141	フィールド社会技術学特論	16	17	94.1%
AM1151	水圏動物生理学特論	1	1	100.0%
AM1222	組織細胞機能学特論	21	22	95.5%
AM1223	食品機能開発学特論	40	48	83.3%
AM1231	火山灰土壌学特論	9	10	90.0%
AM1241	国際開発学特論	10	11	90.9%
AM1251	食・農アセスサイエンス	19	19	100.0%
AM1332	栽培植物環境科学特論	19	20	95.0%
AM1341	植物生命科学合同講義	40	43	93.0%
AM1351	水圏生物生産科学合同講義	10	17	58.8%
AM1411	環境適応生物工学特論	13	14	92.9%
AM1421	水産資源化学特論	4	4	100.0%
AM1422	動物微生物学特論	17	19	89.5%
AM1431	動物生理科学特論	9	15	60.0%
AM1432	植物細胞生化学特論	3	3	100.0%
AM1512	動物栄養生化学特論	2	2	100.0%
AM1524	植物病態生理学特論	9	9	100.0%
AM1551	実践科学英語	7	12	58.3%
AM1602	生命機能物質分析特論	16	17	94.1%
AM1606	災害復興合同講義Ⅱ	12	22	54.5%
AM1705	農業水産政策学特論	14	26	53.8%
AM1706	応用遺伝子工学特論	56	65	86.2%

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（平成29年度2学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	211	295	71.5%
AM1523	栄養生理学特論	19	30	63.3%
AM2101	Food & Agricultural Immunology	24	28	85.7%
AM2131	水圏資源動態学特論	15	16	93.8%
AM2221	生物資源利用学	27	45	60.0%
AM2241	天然物生命化学特論	16	17	94.1%
AM2251	先端産業開発論	32	45	71.1%
AM2332	生物海洋学特論	7	7	100.0%
AM2422	生物制御機能学特論	8	12	66.7%
AM2432	農業経営経済学特論	9	15	60.0%
AM2511	植物育種学特論	8	13	61.5%
AM2601	生命共生科学	35	52	67.3%
AM2702	複合生態フィールド制御学特論	6	9	66.7%
AM3201	天然物合成化学特論	5	6	83.3%

掲　　示

学 生 諸 君 へ

農学研究科の学生による授業評価の実施について

平成２９年度第１学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学研究科の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることが期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

１．対象授業科目について
第１学期に開講される授業科目（前期課程対象）について実施します。

２．実施方法
授業中に授業担当教員からアンケート用紙が配付されるので、黒鉛筆で記入し、授業担当教員から依頼された学生が用紙を回収し、教務係に提出して下さい。

３．評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学研究科の授業改善の参考となります。

平成２９年５月

農 学 研 究 科 長

平成29年5月24日

農学研究科授業担当教員　各位

農学研究科評価室長

学生による授業評価の実施について（依頼）

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。

つきましては、アンケート用紙をお送りしますので、下記により実施頂きたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される農学研究科授業科目（前期課程）について実施します。**受講者数に関らず全科目が対象となります。**ただし、全学で実施している合同講義の読替え科目については対象となりませんので、**その場合は教務係までご連絡願います。**

2. 実施日時・方法等
(1)実施日時について
授業評価の実施は原則として、講義の最終日にお願いします。
(2)実施方法について
授業を担当している先生方は、授業終了15分前頃にアンケートを学生に配付いただき、黒鉛筆でしっかりと枠内に記入するよう指示をお願いします。
(3)評価用紙の提出について
アンケート用紙の回収は、学生（1名）に依頼し、所定の封筒に一括して封入し、回収枚数を記入のうえ教務係に提出するよう指示をお願いします。この際、教務係まで学生に同伴するようお願いします。
(4)学生への周知について
学生には、授業評価に協力するよう掲示しています。

3. 評価結果の取り扱い
(1)評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
(2)アンケート用紙は集計後、各担当教員に返却します。
(3)授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

平成３０年１月２３日

平成２９年度
農学研究科授業担当教員　各位

農学研究科評価室長

平成２９年度「大学院学生による授業評価」に関する意見等について（依頼）

今年度に実施いただいた「大学院学生による授業評価」について、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

第１学期実施分について集計作業が終了いたしましたので、先生方に学生記載のアンケート用紙と集計結果をお送りいたします。また、担当授業の集計データの他に授業科目全体の平均も同封いたします。

つきましては、授業評価集計データをもとに、ご担当の授業に関する大学院学生による評価項目を点検し、代表的な評価項目（１項目ないし２項目）及び主な自由記述内容を挙げていただくとともに、これらについての意見等を授業評価に関する感想・意見（別紙３）にご記入の上、教務係に２月２８日（水）までご提出いただくようお願いいたします。

なお、先生方の意見は今後のカリキュラムの改善等に役立てるとともに、評価書冊子に無記名で掲載させていただきますので、ご承知下さいますようお願いいたします。

別 紙 ３

農学研究科評価室

授業科目名　　氏名

１．代表的な評価項目（１項目ないし２項目）及び自由記述内容

２．１に対する意見等

学生による授業評価アンケート実施結果報告書

2019 年 3 月

編　集：東北大学大学院農学研究科評価室・評価委員会

評価室長		鳥山　欽哉		
評価委員会		尾定　　誠	◎	金山　喜則
	○	佐藤　正寛		大越　和加
		桑原　重文	○	青木　優和
		井元　智子		菅野　均志
		北柴　大泰		深澤　充
		石田　宏幸		中嶋　正道
		北澤　春樹		横井　勇人
評価室員		小野寺　和彦		小出　雅嗣

（◎学生授業評価専門委員会委員長、○同専門委員会委員）

発　行：東北大学大学院農学研究科

〒980-8572 葉区荒巻字 468-1

Tel: 022-757-4003　　Fax: 022-757-4020